

「建学の精神」

1) 教育理念

人間の能力は生まれつきのものでなく、その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。

2) 学園訓 <愛・信・敬>

一、他人を愛し 他人を信頼し 他人を尊敬する 人間に 私はなりたい

二、他人から愛され 他人から信頼され 他人から尊敬される 人間に 私はなりたい

3) 教育の目的

愛情と信頼と尊敬に充ちた教育を通じて、個性を伸ばし、能力を開発し、自立と向上心並びに互助協力の精神を培わせ、徳・体・智の調和のとれた人格の形成を図り、平和で民主的な国家及び社会に貢献できる人間を育成することを目指している。

<建学の精神に基づいた教育の具現化を実現し生徒、保護者から選ばれる学校を目指す>

1) アドミッションポリシー（入学生受入方針）

本校の教育理念・学園訓に共感し、「学習意欲」の高い者で、課題の発見・解決に向け、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力があり、動物愛護精神が強く、動物業界の発展に寄与するために努力を惜しまず目標に向かって邁進できる者を受け入れる。

2) カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では教育方針に基づき動物業界に必要な心と技術・知識そしてビジネス能力を身につけることができる。それらの実現と実践的で専門的な能力を育成するため動物関連企業の要望やニーズを十分考慮し、教育課程編成においては、組織的に動物業界と連携し職業教育の改善、充実を図れるようカリキュラムを編成する。

3) ディプロマポリシー（進級・卒業認定、専門士授与に関する方針）

本校所定のカリキュラムを修了した者には卒業認定と同時に「専門士」と称することが認められる。また、「職業実践専門課程」修了者として動物業界の発展と公共の福祉の推進に寄与することができる「確かな知識や技術力」、さらに、「人間力」即ち、社会・対人関係力、自律力を身につけ、社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身につけていることとする

京都動物専門学校

学 則

(令和4年度～)

学校法人 南京都学園

京 都 動 物 専 門 学 校 学 則

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本校は教育基本法及び学校教育法に基づき商業の実務に関する専門知識及び技能を習得させ、創造性豊かな人材を育成することを目的とする。

(名 称)

第 2 条 本校は京都動物専門学校という。

(位 置)

第 3 条 本校の位置を、京都府京都市伏見区桃山福島太夫西町 6 番地に置く。

第 2 章 課程、学科、修業年限、定員及び休業日

(課程、学科、修業年限及び定員)

第 4 条 本校の課程、学科、修業年限及び定員は次のとおりとする。

課 程 名	学 科 名	修業年限	入学定員	学科定員	総定員
商業実務専門課程	グルーミング学科	2 年	40 名	80 名	185 名
	愛玩動物看護学科	3 年	35 名	105 名	

(学年及び学期)

第 5 条 本校の学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 3 1 日に終わる。

2 学年を分けて、次の 2 学期とする。

前 期 4 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

後 期 1 0 月 1 日から 3 月 3 1 日まで

ただし、校長が相当と認めた場合は学期の開始日及び終了日を変更することができる。

(休業日)

第 6 条 本校の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 夏季休業日
校長が別に定める

(4) 冬季休業日
校長が別に定める

(5) 春季休業日
校長が別に定める

(6) 創立記念日
11月10日

(7) 土曜日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があると校長がみとめた場合は、前項の規定にかかわらず、休業日に授業を行うことがある。

3 非常変災その他特別の事情があると校長が認めた場合は、臨時に休校することがある。

第3章 教育課程、授業時数、教職員組織及び成績評価

(教育課程及び授業時数)

第7条 本校の教育課程及び授業時数は別表第1のとおりとする。

2 授業時間（1単位授業時間）は45分とする。

(始業及び終業時間)

第8条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

9時から16時10分まで

(成績評価)

第9条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

(教職員組織)

第10条 本校に校長、教員、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

2 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4章 入学、休学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第11条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

(1) 高等学校を卒業した者。

(2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者。

(3) 文部科学大臣の定めるところにより高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

(入学時期)

第12条 本校の入学時期は、毎年4月1日とする。

(出願手続、入学手続、入学許可)

第13条 本校に入学しようとする者は、所定の入学願書その他必要な書類に、入学選考料を添えて願出しなければならない。

- 2 入学選考の結果、合格の通知を受けた者は、指定期日までに入学金等を納付しなければならない。
- 3 校長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(休学及び復学)

第14条 生徒が疾病、その他やむを得ない事由によって、休学する場合は、所定の休学願に理由を明記し、診断書等を添付して、校長に願出で許可を受けなければならない。

- 2 休学する者は、別表第2の在籍料を納めなければならない。
- 3 休学者が復学しようとする場合は、所定の復学願を提出し、校長の許可を受けなければならない。

(退学)

第15条 退学しようとする者は、所定の退学願を提出し、校長の許可を受けなければならない。

(卒業証書・称号の授与)

第16条 第9条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は、第4条第1項の課程を修了した者について、卒業を認定し、併せて文部科学大臣告示（平成6年文部省告示第84号）により専門士（商業実務専門課程）と称することを認め、第1号様式による卒業証書を授与する。

(ほう賞)

第17条 校長は、成績優秀にして他の模範となる者をほう賞することができる。

(懲戒)

第18条 校長は、本学則に違反し、又は生徒としての本分に反する行為をした者を、懲戒することができる。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められた者
 - (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
 - (4) 本校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に著しく反した者

第5章 入学金及び授業料等

(入学金及び授業料等)

第19条 選考料、入学金及び授業料等は別表第2のとおりとし、これを所定の期日までに納付しなければならない。

- 2 授業料等は前期及び後期に分けて納めることができる。
- 3 授業料等未納者には退学を命ずることができる。
- 4 入学年度の前年度の3月31日までに入学辞退の意思表示をした者については、入学手続き時に納付した入学金及び授業料のうち、入学金を除きこれを返還する。
ただし、専願にて推薦入試に合格し、入学手続きを行った場合は原則として、一切返還しない。

第6章 附帯教育事業

(附帯教育事業)

第20条 附帯教育事業として、次のとおり別科を設置する。

講座名	修業期間	総定員	備考
愛玩動物看護師受験対策	12ヶ月	40名	平日
高校生対象講座	1ヶ年	40名	平日・休日

2. 別科の受講料金は、別表2のとおりとする。

第7章 雑 則

(健康診断)

第21条 健康診断は毎年1回、別に定めるところにより実施する。

(細 則)

第22条 この学則の施行に必要な細則は、校長が別に定める。

附 則

1. この学則は平成9年4月1日から施行する。
2. ① この学則は平成11年4月1日から施行する。ただし、第16条第1項の規定は、平成11年3月1日から施行する。
② 第4条第1項の規定にかかわらず、平成11年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。

3. この学則は平成13年4月1日から施行する。
4. この学則は平成14年4月1日から施行する。
5. この学則は平成15年4月1日から施行する。

6. この学則は平成15年4月1日から施行する。ただし、第4条第1項及び第16条第1項の規定にかかわらず、平成15年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。
7. この学則は平成16年4月1日から施行する。
8. この学則は平成17年3月10日から施行する。
9. この学則は平成18年4月1日から施行する。ただし、平成18年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。
10. この学則は平成19年4月1日から施行する。
11. この学則は平成20年4月1日から施行する。
12. この学則は平成21年4月1日から施行する。
13. この学則は平成23年4月1日から施行する。
14. この学則は平成26年4月1日から施行する。
15. この学則は平成27年4月1日から施行する。
16. この学則は平成29年4月1日から施行する。
17. この学則は平成31年4月1日から施行する。
18. この学則は令和4年4月1日から施行する。

第1号様式の1

	第 号
卒 業 証 書	
校印	氏 名
	年 月 日生
<p>上の者は本校二年制の職業実践専門課程 (平成二十五年文部科学省告示第百三十三号) 商業実務専門課程ペットビジネス学科の 所定の課程を修めたので卒業証書を授与し、 文部科学大臣告示(平成六年文部省告示第八十四号) により、専門士(商業実務専門課程)と称すること を認める。</p>	
	年 月 日
	学校法人南京都学園 京都動物専門学校 校長
	印

第1号様式の2

	第 号
卒業証書	
校印	氏 名
	年 月 日生
<p>上の者は本校二年制の職業実践専門課程 (平成二十五年文部科学省告示第百三十三号) 商業実務専門課程 <u>グルーミング学科</u>の 所定の課程を修めたので卒業証書を授与し、 文部科学大臣告示(平成六年文部省告示第八十四号) により、専門士(商業実務専門課程)と称することを認める。</p>	
	年 月 日
	学校法人南京都学園 京都動物専門学校 校長
	印

第1号様式の3

	第 号
卒 業 証 書	
校印	氏 名
	年 月 日生
<p>上の者は本校<u>三年制</u>の職業実践専門課程 (平成二十五年文部科学省告示第百三十三号) 商業実務専門課程<u>愛玩動物看護学科</u>の 所定の課程を修めたので卒業証書を授与し、 文部科学大臣告示(平成六年文部省告示第八十四号) により、専門士(商業実務専門課程)と称することを認める。</p>	
	年 月 日
	学校法人南京都学園 京都動物専門学校 校長
	印

別表第1-1 教育課程及び授業時間数

商業実務専門課程 ペットビジネス学科 トリマーコース この教育課程は、平成31年度の1年生から適用する。

科目区分	区分	授業科目		年授業時数	
				1年次	2年次
専門分野科目	基礎	犬学	講義	30	
		犬種学	講義	30	
		動物医療学	講義	30	
		動物公衆衛生学Ⅰ	講義	30	
		動物公衆衛生学Ⅱ	講義		30
		ドッグトレーニング演習	演習	30	
		動物飼養管理学	講義	60	
		グループミニング概論	講義	60	
		動物介在・共生論	講義	60	
		動物愛護・福祉論	講義		30
		動物栄養学	講義		30
		動物生理学	講義		30
		動物学	講義		30
	[メディカルトリマー]	動物臨床栄養学	講義		60
		動物医療コミュニケーション	講義		30
		猫学	講義		60
		動物福祉・倫理	講義		30
		ペットファーストエイド	講義		15
	[ショップスタッフ]	エキゾチックアニマル	講義		60
		動物保護論	講義		60
猫学		講義		60	
動物健康管理学		講義		60	
技術専門分野科目	[トリマー] 専攻	グループミニング実習Ⅲ	実習		240
	基礎	グループミニング実習Ⅰ	実習	480	
		グループミニング実習Ⅱ	実習		480
ビジネス分野科目	基礎	ペットビジネス学	講義	60	
		インターンシップⅠ	講義	30	
		インターンシップⅡ	講義		30
		コンピュータ実習Ⅰ	実習	60	
		コンピュータ実習Ⅱ	実習		60
		ビジネスマナー一般常識	講義		30
		ショップ会計	講義		60

基礎科目	授業時数	960	810
専攻科目	授業時数	0	675
合計	授業時数	960	1485
総授業時数		2445	
卒業に必要な総授業時数		1800	

各専攻時の総授業時数	メディカルトリマー専攻	960	1005
		1965	
	トリマー専攻/ショップスタッフ専攻	960	1050
		2010	

1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1800時間以上を履修することを卒業要件とする。

※2年次に〔メディカルトリマー専攻〕・〔ショップスタッフ専攻〕・〔トリマー専攻〕のいずれかを履修すること。

別表第1-2		教育課程及び授業時間数						
商業実務専門課程 グルーミング学科		この教育課程は、令和4年度の1年生から適用する。						
科目 区分	区分	授業科目		年授業時数				
				1年次	2年次			
目分野分門専	基礎	犬	学	講義	30			
		犬	種	学	講義	30		
		動物	医療	学	講義	30		
		動物	公衆衛生学	I	講義	30		
		動物	公衆衛生学	II	講義		30	
		ドッグ	トレーニング	演習	演習	30		
		動物	飼養管理	学	講義	60		
		グルー	ミング	概論	講義	60		
		動物	介在・共生	論	講義	60		
		動物	愛護・福祉	論	講義		30	
		動物	栄養学	基礎	講義	30		
		動物	生理	学	講義		30	
	選択	動物	学	講義		30		
		動物	栄養	学	講義	60		
		動物	医療	コミュニケーション	講義	30		
		猫	学	講義	60			
		生命	倫理・動物	福祉	講義	30		
		ペット	ファースト	エイド	講義	15		
		エキゾ	チック	アニマル	講義	60		
		動物	保護	論	講義	60		
動物		健康	管理学	講義	60			
技術専門 分野科目		基礎	グルー	ミング	実習	III	実習	
	グルー		ミング	実習	I	実習	480	
	グルー		ミング	実習	II	実習		480
ビジネス 分野科目	基礎	ペット	ビジネス	学	講義	60		
		インター	ンシップ	I	講義	30		
		インター	ンシップ	II	講義		30	
		コン	ピュータ	実習	I	実習	60	
		コン	ピュータ	実習	II	実習		60
		ビジネス	マナー	一般常識	講義		30	
		シ	ョ	ツ	ブ	会	計	講義
基礎科目授業時数				990	780			
選択科目授業時数				0	615			
合計授業時数				990	1395			
総授業時数				2385				
卒業に必要な総授業時数				1800				
卒業に必要な総授業時数				1800				

1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1800時間以上を履修することを卒業要件とする。

別表第1-3 教育課程及び授業時間数

商業実務専門課程 ペットビジネス学科 動物看護師コース この教育課程は、平成31年度の1年生から適用する。					
分野区分	科目区分	授業科目		年授業時数	
				1年次	2年次
専門分野	基礎動物看護学	動物形態機能学	講義	120	
		動物繁殖学	講義		30
		動物病理学	講義		30
		動物薬理学	講義		60
		動物感染症学Ⅰ	講義	60	
		動物感染症学Ⅱ	講義		30
	応用動物看護学	動物看護学概論	講義	60	
		動物医療関連法規	講義		30
		公衆衛生学	講義		60
		人間動物関係学	講義		30
		動物福祉・倫理	講義	30	
		動物行動学	講義		30
		伴侶動物学Ⅰ	講義	30	
		伴侶動物学Ⅱ	講義		30
		産業動物・実験動物学	講義		60
		野生動物学	講義		30
	臨床動物看護学	動物内科看護学	講義	30	
		動物外科看護学Ⅰ	講義	30	
		動物外科看護学Ⅱ	講義		30
		動物臨床看護学・総論	講義	30	
		動物臨床看護学・各論	講義		120
		動物臨床栄養学	講義	60	
		動物臨床検査学Ⅰ	講義	30	
		動物臨床検査学Ⅱ	講義		30
	動物医療コミュニケーション	講義	30		
	実習科目	動物形態機能学実習Ⅰ	実習	30	
		動物形態機能学実習Ⅱ	実習		15
		動物内科看護学実習	実習	90	
		動物臨床検査学実習	実習	90	
		動物外科看護学実習	実習		90
動物臨床看護学実習		実習		60	
インターンシップⅠ		実習	90		
インターンシップⅡ	実習		90		
アドバンス分野	専門科目	猫学	講義	60	
		認定動物看護師の理解	講義		60
		ペット・ファーストエイド	講義		15
		ペット保険講座	講義	15	
		校外総合学習Ⅰ	実習	15	
		校外総合学習Ⅱ	実習		15
		ペットアドバイザー演習	演習	30	
		グループミニング実習	実習	240	
	ビジネス科目	ビジネススキルⅠ	講義		30
		ビジネススキルⅡ	講義		30
		コミュニケーション技法基礎	講義		30
		コミュニケーション技法応用	講義		30
		コンピュータ実習	実習	60	
合計授業時数				1230	1065
総授業時数				2295	
卒業に必要な総授業時数				1800	

合計				1230	1065
総授業時数				2295	
卒業に必要な総授業時数				1800	

1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1800時間以上を履修することを卒業要件とする。
 認定動物看護師試験の受験資格は、2295時間を履修することを要件とする。

別表第1-4

教育課程及び授業時間数

商業実務専門課程 愛玩動物看護学科

この教育課程は、令和4年度の1年生から適用する。

分野 区分	科目 区分	授業科目	年授業時数			
			1年次	2年次	3年次	
専門分野 【必修】	基礎動物学	生命倫理・動物福祉	講義	30		
		動物形態機能学	講義	120		
		動物繁殖学	講義	30		
		動物行動学	講義	30		
		動物栄養学	講義	60		
		比較動物学Ⅰ	講義	60		
		比較動物学Ⅱ	講義		60	
		動物看護関連法規	講義			30
	基礎動物看護学	動物愛護・適正飼養関連法規	講義			30
		動物看護学概論	講義	60		
		動物病理学	講義		30	
		動物薬理学	講義		60	
		動物感染症学Ⅰ	講義	30		
		動物感染症学Ⅱ	講義		60	
		公衆衛生学	講義		60	
		臨床動物看護学	動物内科看護学Ⅰ	講義	30	
	動物内科看護学Ⅱ		講義		60	
	動物外科看護学Ⅰ		講義	30		
	動物外科看護学Ⅱ		講義			30
	動物臨床看護学総論		講義	30		
	動物臨床看護学各論		講義		120	
	動物臨床検査学		講義	30		
	動物医療コミュニケーション		講義	30		
	適正飼養・愛玩動物学	愛玩動物学	講義		60	
		人と動物の関係学	講義		30	
		適正飼養指導論	講義		60	
		動物生活環境学	講義	30		
		ペット関連産業概論	講義		30	
	実習科目	動物形態機能学実習	実習	30		
		動物内科看護学実習Ⅰ	実習	90		
		動物内科看護学実習Ⅱ	実習		30	
		動物臨床検査学実習	実習	60		
		動物臨床看護学実習	実習		120	90
動物愛護・適正飼養実習		実習	120			
動物看護総合実習		実習		90	90	
専門分野計			900	870	270	
アドバンス分野 【選択】	専門科目	動物臨床看護学総合演習	演習			480
		動物看護学総合演習	演習			180
		野生動物学	講義			120
		猫	講義	60		
		ペットファーストエイド	演習		15	
		動物福祉総合演習	演習		60	
		ペット保険講座	講義	15		
		ペットアドバイザー演習	演習	60		
	ビジネス科目	動物理学療法学	講義		30	
		基礎動物学	講義	30		
		ビジネススキルⅠ	講義	30		
		ビジネススキルⅡ	講義		30	
		コミュニケーション技法基礎	講義	30		
コミュニケーション技法応用	講義		30			
コンピュータ実習	実習		60			
総授業時数			1125	1095	1050	
総授業時数			3270			
卒業に必要な授業時数			2600			

1年次・2年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、3年間で2600時間以上を履修することを卒業要件とする。

別表第2-1

1. 専門課程 全学科共通

この表は平成23年度の1年生から適用する。

入学選考料	20,000円	受験時のみ
入学金	100,000円	入学時に納付
授業料 (年間)	700,000円	毎年
施設運営費 (年間)	150,000円	毎年
実習費 (年間)	200,000円	毎年

2. 休学者の在籍料

休学者の在籍料	100,000円	通年
	50,000円	前期・後期

3. 別科受講料

動物看護師受験講座	60,000円	1回の講義90分(30回程度)
高校生対象講座 (1教科)	32,000円	1回の講義90分(8回程度)

別表第2-2

1. 専門課程 全学科共通

この表は令和4年度の1年生から適用する。

入学選考料	20,000円		受験時のみ
入学金	100,000円		入学時に納付
授業料 (年間)	グルーミング学科	700,000円	毎年
	愛玩動物看護学科	760,000円	
施設運営費 (年間)	150,000円		毎年
実習費 (年間)	200,000円		毎年

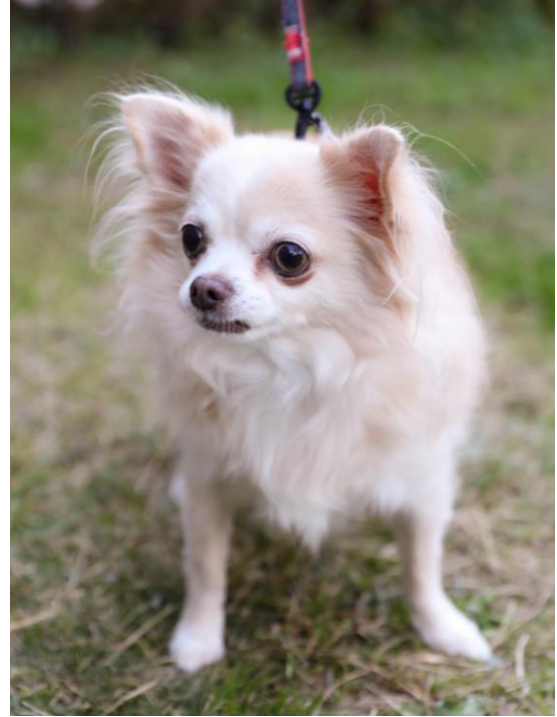
2. 休学者の在籍料

休学者の在籍料	100,000円	通年
	50,000円	前期・後期

3. 別科受講料

愛玩動物看護師受験講座	<u>90,000円</u>	1回の講義90分(30回程度)
高校生対象講座	32,000円 (1教科)	1回の講義90分(8回程度)

令和5年度 学生便覧



KYOTO DOBUTSU

京都動物専門学校

学園教育理念

人間の能力は生まれつきのものでなく、

その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる。

学園訓

一、他人を愛し 他人を信頼し 他人を尊敬する 人間に私はなりたい

一、他人から愛され 他人から信頼され 他人から尊敬される

人間に私はなりたい

学園の教育の目的

愛情と信頼と尊敬に充ちた教育を通じて、個性を伸ばし、能力を開発し、自立と向上心ならびに互助協力の精神を培わせ、徳・体・智の調和のとれた人格の形成を図り、平和で民主的な国家及び社会に貢献できる人間を育成することを目指している。

本校の教育綱領

SKILL&LOVE「確かな技術と人や動物に対する愛情」を合言葉に動物系とビジネス系の二本柱を教育の中心に置き、これからの動物業界の未来を担う、人材の育成を目指している。

今までに無い、新しい動物系の学校としてのあり方を常に創造し挑戦していく。

目 次

第1章 学籍

第1条：【学籍の得喪】	3
第2条：【在籍期間】	3
第3条：【休学】	3
第4条：【退学】	3
第5条：【復学・再入学】	3
第6条：【学費納入】	3

第2章 学習要項

第7条：【授業】	4
第8条：【保健業務】	5
第9条：【公欠】	5
第10条：【出校停止】	5
第11条：【忌引】	5
第12条：【試験】	5
第13条：【評価】	6

第3章 学生生活

第14条：【学生生活に関する留意事項】	8
第15条：【クラス担任制度】	8

第4章 通学証明書・学割証の交付

第16条：【通学証明書】	8
第17条：【学生証】	8
第18条：【通学定期券、学割証使用の留意点】	8
第19条：【各種証明書】	8

シラバス

第1章 学 籍

第1条【学籍の得喪】

学籍は認証によって取得し、卒業、退学などによって喪失する。

第2条【在籍期間】

在籍期間は4年を超えることはできない。ただし、休学期間はこれに含めない。

第3条【休学】

- (1) 病気その他やむを得ない事由で長期にわたり欠席する場合には、休学願を保証人から提出し、校長の許可を得て休学することができる。原則として、休学は当該学期の授業料納付期限日までに願い出ることとし、当該年度末までの期間の許可を受けることができる。休学期間中は、学費を徴収しない。ただし、学則第14条第2項に定める在籍料を納めなければならない。
- (2) 休学の期間は、2年を超えないものとする。ただし、やむを得ない理由があると校長が認めた場合は、期間を延長することができる。

第4条【退学】

- (1) 担任・校長の指導のもと、退学する場合は学生証を添えて、退学願を提出する。
- (2) 下記の場合は退学を命ずることがある。
 1. 無届の欠席が3ヶ月におよぶ場合。
 2. 本校生徒としてふさわしくない言動があった場合。
 3. 理由なくして学費の滞納が3ヶ月におよび再度にわたる警告を無視した場合。

第5条【復学・再入学】

- (1) 校長が認めた場合、一旦休学又は退学した者の復学・再入学を許可する。復学・再入学の時期は、原則として各学期の初日とする。この場合、本校在学期間中に修得した科目については教務部が判定し、校長が認定する。
- (2) 復学・再入学が認められた者は、その期の学費を支払わなければならない。ただし、再入学者は、入学金も支払わなければならない。

第6条【学費納入】

- (1) 学費の納入は必ず所定額を指定日までに納入すること。指定日までに学費が完納されない時、校長は出校停止を命ずることができる。
- (2) 原則として、既納の学費は返還しない。
- (3) 入学年度の前年度の3月31日までに入学辞退の意思表示をした者については、学則第19条第4項を適用する。

第2章 学習要項

第7条【授業】

(1) 学 期

本校における授業は通常、前期・後期に分かれ、その期間は下記の通りとする。

前期 4月1日 ～ 9月30日

後期 10月1日 ～ 3月31日

(ただし、校長が認めた場合は両期の開始日及び終了日は変更することもある。)

(2) 時 限

授業時間を時限と呼び、1時限は90分で次の通りとする。

1時限 9:00～10:30

2時限 10:40～12:10

3時限 13:00～14:30

4時限 14:40～16:10

(3) 休 講

休講となる場合は、掲示により連絡する。

(4) 補 講

授業が休講となった場合は、授業時間とは別に日時を定めて補講を行うことがある。

日時・教室などは掲示により連絡する。

5) 災害時等における授業の取扱い

1. 京都市において警報等が発令された場合

ア. 午前6時30分現在で、「特別警報」「洪水警報」「暴風警報」のいずれかが発令中の場合、生徒は自宅待機とする。(臨時休講)

イ. 午前10時30分現在解除されていれば3限目から授業を行う。ただし、実習授業においては、休講となる場合がある。詳細はホームページ等に掲載する。

2. 定期試験中について前項1.の警報が発令された場合、臨時休校(終日)とし当該試験に関しては別途掲示により指示する。

3. 登校後(授業中)に発令された場合、又は、危険が迫っている場合は、学校長の判断で授業等を中断し、下校もしくは学校待機を指示する。また、特別警報が発令された場合等、下校させず学校待機を命じることがある。

4. 上記1.の地域以外(生徒の居住地)で「特別警報」「洪水警報」「暴風警報」のいずれかが発令された場合、もしくは、特に危険な状況であると判断した場合には、該当する生徒は、その旨を学校(担任等)に連絡の上、自宅待機(公欠扱い)とする。解除された場合は、十分に安全を確認の上、登校してもよい。

(6) 授業の出席

1. 履修している授業科目の認定を受けるためには、欠課時数とその授業時間数の3分の1を超えてはならない。超えた場合は不認定となる。その科目の認定を受けることができない。

2. 警告

極めて欠課時数が多い生徒に対し、その都度、保護者あてに警告文を送付する。

3. 通達

欠課時数とその授業時間数の3分の1を超えた場合は、生徒及び保護者に対してその旨を通達する。

(7) 授業の欠席

授業中に理由無く退出した生徒は欠課扱いとする。

(8) 授業の遅刻、早退

授業開始から15分までを遅刻扱いとし、15分以上の場合は欠課扱いとする。

原則として早退は認めない

第8条【保健業務】

生徒各自が健康に十分留意し、充実した学生生活を過ごせるように、本校では、毎年全生徒を対象に定期健康診断を実施する。

第9条【公欠】

下記に掲げる事由により、やむを得ず授業を受講できない場合には「公欠」を認める。公欠の扱いを受けようとする者は、原則として前日までに、公欠願に必要事項を記入し、事務所へ提出すること。

1. 就職試験、会社訪問などの場合
2. その他、校長が特に必要と認めた場合

第10条【出校停止】

感染症に指定されている病気などに感染した生徒は出校停止とする。完治後、遅滞なく医者の診断書等を学校に提出しなければならない。

第11条【忌引】

下記のように忌引を認める。ただし、保証人又はこれに代わる者による書面を担任に提出することを求めることがある。

- | | |
|------------------|--------|
| 一 親等（父母、配偶者等） | = 7日以内 |
| 二 親等（祖父母、兄弟姉妹等） | = 3日以内 |
| 三 親等（叔父叔母、曾祖父母等） | = 1日以内 |

第12条【試験】

本校の試験は通常、平常試験と定期試験に分かれ、各試験について本条（3）を適用する。

（1）平常試験

担当教員が授業時間内に行う試験で、この試験にはレポート・課題提出なども含まれる。レポート・課題提出等は平常試験として扱われるので、必ず担当教員に提出すること。

（2）定期試験

前期・後期の授業終了時に本校が指定する期間に行う試験のことで、定期試験の代わりに課題などを提出させる場合もある。結果（再試験・追試験）については、定期試験終了後、掲示により発表する。

（3）試験受験上の注意

1. 学費を納入していない者は受験することができない。
2. 指定された試験場で受験しなければならない。
3. 遅刻した者の受験は、試験開始より15分以内に限り認め、それ以後は認めない。
4. 試験場では試験監督の指示に従わなければならない。
5. 不正行為があった場合は職員会議において審議し処分を決定する。
 - ア) 不正のあった科目を含め、それ以前に受けた当該期の試験は全て0点とする。
 - イ) ア) の場合、基本的には再試験を受けることができる。

ウ) 但し、学則第18条により、懲戒処分とする。懲戒の中身については、担任及び当該試験担当教員の報告を参考に校長が判断する。

(4) 追試験

下記の6項目の事由で定期試験を受験できなかった生徒を対象として追試験を行う。なお、評価については定期試験と同じ基準とし、結果については掲示にて発表する。

1. 天災
2. 交通事故
3. 病気
4. 就職試験・会社訪問
5. 忌引・その他やむを得ない事由
6. 校長が特別に認めた事由

(5) 再試験

定期試験(課題なども含む)において履修科目が合格点に達しなかった者に対し、本校が指定する日に行う試験(課題などの再提出も含む)で、結果は掲示により発表する。

1. 受験申請

所定の再試験受験願に、1科目につき3,000円の受験料を添えて試験前日の17時までに事務所で手続きをし、受験票を試験当日必ず持参すること。忘れた場合は、事務所にてすぐに再発行を行うこと。

2. 試験の遅刻

遅刻した者の受験は、一切認めない。

3. 成績評価

試験に合格すれば、可の評価とする。

第13条【評価】

(1) 総合評価の基準

総合評価は、100点満点で評価され、50点以上を合格とし、49点以下を不合格とする。

(2) 総合評価

評価方法は、以下の内容で評価される。

1. 定期試験
2. 課題
3. 技術・技能評価
4. 学習・実習態度

(3) 成績の通知

成績不可の生徒に対しては掲示により通知する。

(4) 進級判定

1年次の生徒が2年次へ進級する際の進級判定は進級判定会議で行う。

(5) 卒業認定

2年以上在学している生徒の卒業は卒業判定会議を経て校長が認定する。

(6) 総合判定の表記

履修した科目については、下記の4段階で評価する。
なお、成績証明はこの総合判定の表記とする。

100～80	優
79～65	良
64～50	可
49以下	不可

(7) 補充講義

不認定（再試験の結果不合格など）の科目は、判定会議で認められれば、下記の要領で補充講義の受講または課題を提出することができる。これにより認定されることもある。

1. 補充講義の日時は、掲示により発表する。
2. 補充講義の受講または課題提出によって認定されれば可の評価を受ける。
3. 補充講義・課題はそれぞれの提出願に記入し、事務所へ下記の金額を添えて定められた期間に手続きすること。

補充講義・・・1科目につき5,000円
課題・・・1科目につき1,000円

(8) 不認定科目について

1年次900時数以上の履修を進級要件とし、2年間で1,800時数以上を履修することを卒業要件とする。

但し、2年次における不認定科目については、15時数あたり3万円が必要となり翌年再履修することができる。

(9) GPA制度について

自律的学修の促進および学修指導等に活用、また成績の把握を目的とし、GPA (Grade point Average) を実施する。

各生徒の履修登録科目の成績評価をグレード・ポイント (GP) に変換し、その総和を履修科目数の総和で除した値をGPAとする。

成績の評価とGP対応

成績の評価		GP (グレード・ポイント)
素点	評語 (成績表示)	
100～80	優	3.0
79～65	良	2.0
64～50	可	1.0
49以下	不可	0

GPA算出方法

$$GPA = \frac{\text{当該期間において履修登録した科目のGPの総和}}{\text{当該期間において履修登録した科目数の総和}}$$

注) GPA算出においては、不可科目および学期途中の履修中止科目も含む。

第3章 学生生活

第14条【学生生活に関する留意事項】

1. 登下校の際には交通道徳を守り、特に車内においてはマナーを守り本校の生徒として節度ある行動をとること。
2. 自動車での通学は禁止する。ただし、バイク又は自転車通学希望者は本校指定の誓約書及び自賠責保険証書のコピーを提出すること。
3. 校内での飲食は定められた場所で行うこと。
4. 学生証を常に携帯すること。
5. 住所を変更した場合は、所定の用紙に記入して速やかに事務所に届けなければならない。
6. 本校は二足制であり、校内では上履きを履くこと。
7. 本校は全面禁煙である。

第15条【クラス担任制度】

本校では連絡ならびに生活指導などの徹底をはかるためにクラス担任制度を導入している。

第4章 通学証明書・学割証の交付

第16条【通学証明書】

1. 入学時、通学証明書発行台帳提出後、学生証の裏面に交通機関・通学区間などの証明を受ける。
2. 定期券の購入は必要とする交通機関の窓口で「購入申込書」に記入し、学生証と一緒に提出し購入すること。

第17条【学割証】

1. 本人以外の使用を禁じる。
2. 乗車の際、必ず「学生証」を携帯すること。

第18条【通学定期券・学生証使用の留意点】

1. 生徒には割引の特典がある。それだけに充分注意して不正使用しないこと。
2. 他人への貸与は禁止する。
3. 学生証を紛失した場合は、すぐに事務所へ届けること。
4. 学生証は常時携帯し、何時でも提示できるようにすること。
5. 万一不正使用した場合は、本人に対して相当の追徴金を課せられるだけでなく、学校全体に対して割引の特典が取り消されることになる。この場合、保証人または、それに代わる者が金額支払いの責任をとることになっているので特に留意すること。

第19条【各種証明書】

下記の証明書を必要とする場合は「証明書交付願」に記入して手数料を添えて願い出ること。

1. 在学証明書・卒業証明書・成績証明書・卒業見込証明書等 = 300円/通
2. 学生証再発行 = 500円/通
3. その他 証明書 = 300円/通

附則

1. この学生便覧は平成9年4月1日から施行する。
2. この学生便覧は平成21年4月1日から施行する。
3. この学生便覧は平成23年4月1日から施行する。
4. この学生便覧は平成26年4月1日から施行する。
5. この学生便覧は平成27年4月1日から施行する。
6. この学生便覧は平成28年4月1日から施行する。
7. この学生便覧は平成30年4月1日から施行する。
8. この学生便覧は平成31年4月1日から施行する。
9. この学生便覧は令和2年4月1日から施行する。
10. この学生便覧は令和3年4月1日から施行する。
11. この学生便覧は令和4年4月1日から施行する。

令和5年度 シラバス



シラバス 目次

グルーミング学科

【1年】 ●実務経験のある教員による授業科目 (930)

●犬学 (30)	1
●犬種学 (30)	2
●動物医療学 (30)	3
●動物公衆衛生学 I (30)	4
●ドッグトレーニング演習 (30)	5
●動物飼養管理学 (60)	6
●グルーミング概論 (60)	7
●動物介在・共生論 (60)	8
●動物栄養学基礎 (30)	9
●グルーミング実習 I (480)	10
●ペットビジネス学 (60)	11
●インターンシップ I (30)	12
コンピュータ実習 I (60)	13

【2年】 ●実務経験のある教員による授業科目 (1275)

●動物公衆衛生学 II (30)	14
●動物愛護・福祉論 (30)	15
●動物生理学 (30)	16
●動物学 (30)	17
●動物栄養学 (60)	18
●動物医療コミュニケーション (30)	19
●猫学 (60)	20
●生命倫理・動物福祉 (30)	21
●ペットファーストエイド (15)	22
●エキゾチックアニマル (60)	23
●動物保護論 (60)	24
●動物健康管理学 (60)	25
●グルーミング実習 III (240)	26
●グルーミング実習 II (480)	27
●インターンシップ II (30)	2
コンピュータ実習 II (60)	29
●ビジネスマナー・一般常識 (30)	30
ショップ会計 (60)	31

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
犬学	基礎	1	前期	吉田 浩和	<ul style="list-style-type: none"> ・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

トリマーとして、犬という動物について考え正しく理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬とはどんな動物か	犬の分類と歴史、特徴
2	犬の発達過程と社会行動	各時期の行動学的特徴
3	犬の発達過程と社会行動	コミュニケーション行動
4	動物の遺伝と繁殖生理	生殖器の形態と機能
5	動物の遺伝と繁殖生理	犬の繁殖生理
6	学習理論	学習とは何か
7	学習理論	生得的な行動と学習した行動
8	学習理論	学習の種類
9	学習理論	刷り込み
10	学習理論	行動や学習に影響を与える因子
11	飼養管理	犬の適切な飼養管理方法
12	犬のしつけの基本	しつけとは何か
13	犬のしつけの基本	基本的なしつけ方
14	犬のしつけの基本	基本的なトレーニング法
15	試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・モデル犬の兼ね合いで順序及び動物飼養管理学、動物介在・共生論、ドッグトレーニング演習と入れ替わることがある
- ・試験結果、授業態度、出席日数等の総合評価とする

教科書

ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル／緑書房
プリント配布

参考文献

動物看護コアテキスト 4／ファームプレス
Dog Owners Handbook／interzoo

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
犬種学	基礎	1	前期	大塚 浩也	トリマー

講義の目的および概要

犬に関する深い知識の習得とスタンダードを理解することによって、犬とグルーミングの本質を理解することを目的とする。

また、犬という動物への理解の深まりは、様々な分野においても役立ち、特に犬に携わる人間（職業人）にとっては重要であることを理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬種学とは	犬及び犬種ごとの理解が、なぜ必要かを理解する。
2	犬の体の構成	犬の骨格・体・歯の名称や働き、特徴などを理解する。
3	犬種グループについて	「何によって」犬種がグループ分けされているのかを理解する。
4	第4グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
5 ～ 6	第1グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
7	第2グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
8	第5グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
9	第7グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
10	第8グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
11 ～ 12	第9グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
13	第9・10グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
14	第3グループの犬種について	このグループに所属する犬種のスタンダードについて学ぶ。
15	試験	

学習上の留意点と評価方法

一般に飼われることの多い犬種を重点的に学習し、犬に対する理解を深める。

試験は筆記試験を実施。

小テスト、試験、授業態度、欠課・遅刻日数、提出物などにより総合的評価を実施。

教科書

最新犬種図鑑／インターズー

参考文献

イラストで見る犬学／講談社

トリマーのためのベーシック・テクニク／緑書房

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療学	基礎	1	前期	白崎 凌太	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

犬を扱うにあたっての基本的な知識や、緊急に対応するための知識や技術、各臓器の構造や機能・疾患について理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	バイタルサインについて	バイタルサインとは？
2	生体の構成について	名称と役割について
3	外形と外皮について	構造と役割について
4	骨格について	構造と役割 骨折について
5	筋肉について	構造と役割
6	消化器系	構造と役割、下痢・嘔吐について
7	呼吸器系	構造と役割・代表的な疾患について
8	血液学	種類と構造・血球の働きについて
9	泌尿器系	名称と構造 尿の生成について
10	泌尿器系	腎臓の構造や働きについて
11	循環器系	役割について
12	循環器系	代表的な疾患について
13	内分泌系と神経系	役割について 代表的な疾患について
14	まとめ	前期試験にむけて復習
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度や・小テストなどから総合評価

教科書

イラストでみる犬学

参考文献

特になし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物公衆衛生学 I	基礎	1	後期	白崎 凌太	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

環境および食品衛生、疫学・人獣共通感染症について学び理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	公衆衛生学総論	公衆衛生の定義・公衆衛生における獣医療の役割
2	獣医療と公衆衛生	公衆衛生を学ぶ定義・獣医療における衛生の動向
3	食品衛生	食品衛生法・食品アレルギー
4	食品衛生	食中毒とは
5	予防衛生	食品の保存方法
6	予防衛生	食品の由来の健康危害防止策
7	環境衛生とは	概論
8	水の衛生	上下水道・水質汚濁、水系感染症
9	大気の衛生	空気・体温調節・大気汚染
10	生活環境問題	生活環境問題の例
11	廃棄物問題	感染性廃棄物・災害廃棄物
12	衛生動物	衛生動物学
13	人獣共通感染症の定義	人獣共通感染症とは
14	まとめ	試験対策にむけて復習
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度や授業の積極性による総合評価

教科書

愛玩動物看護師の教科書 3/緑書房

参考文献

特になし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ドッグトレーニング演習	基礎	1	後期	吉田 浩和	<ul style="list-style-type: none"> ・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

トリマーとしてできるトレーニングについて考える。
実践の経験の中で適切なアドバイスができるようになる。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	トレーニングについて	トレーニングの目的、方法について
2	接し方について	犬との接し方について
3	犬に教える	基本コマンド
4	犬に教える	基本コマンド
5	犬に教える	基本コマンド
6	犬に教える	基本コマンド
7	犬に教える	基本コマンド(モデル犬)
8	犬に教える	基本コマンド(モデル犬)
9	犬に教える	基本コマンド(モデル犬)
10	犬に教える	基本コマンド(モデル犬)
11	犬に教える	実技(モデル犬)
12	犬に教える	実技(モデル犬飼い主同伴)
13	犬に教える	犬と遊ぶ
14	問題行動	問題行動の修正
15	実技テスト	※補講日に開催

学習上の留意点と評価方法

- ・モデル犬の兼ね合いで順序及び動物飼養管理学、動物介在・共生論、犬学と入れ替わることがある
- ・授業態度、出席日数、実技結果等を総合評価とする

教科書

ドッグトレーニングパーフェクトマニュアル／緑書房
プリント配布

参考文献

動物看護コアテキスト 4／ファームプレス
Dog Owners Handbook／interzoo

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物飼養管理学	基礎	1	通年	吉田 浩和	・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

トリマーとして愛玩動物飼養管理士2級の内容を理解し、試験合格を目指す。
愛玩動物飼養管理士が対応する動物についての知識や法律を理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	愛玩動物飼養管理士	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的・事業
2	愛玩動物飼養管理士	愛玩動物飼養管理士
3	愛玩動物飼養管理士	愛玩動物飼養管理士と愛護・適正飼養学
4	愛玩動物飼養管理士	ボランティア活動の捉え方
5	動物の体の仕組みと働き	体の基本の仕組み
6	動物の体の仕組みと働き	消化器
7	動物の体の仕組みと働き	泌尿器
8	動物の体の仕組みと働き	運動器
9	動物の体の仕組みと働き	皮膚と感覚器
10	動物愛護・適正飼養関連法規	動物と法律
11	動物愛護・適正飼養関連法規	愛護・適正飼養関連行政法規
12	動物愛護・適正飼養関連法規	社会福祉行政・環境衛生法規
13	動物愛護・適正飼養関連法規	野生動物等に関する法体系
14	予備日	
15	試験	
16	動物の遺伝と繁殖生理	猫の繁殖生理
17	動物の遺伝と繁殖生理	発達過程
18	動物の遺伝と繁殖生理	コミュニケーション
19	動物の遺伝と繁殖生理	遺伝学概論
20	動物の行動としつけ	室内飼育猫のしつけの基本
21	愛玩動物学	歴史と品種
22	動物の飼養管理	愛玩動物の飼養管理
23	動物の飼養管理	動物の基本的な取り扱い
24	動物の飼養管理	動物の栄養と食事
25	動物の飼養管理	高齢動物の取り扱い
26	動物の飼養管理	動物の保定
27	ペット関連産業概論	商取引における関連法規
28	ペット関連産業概論	動物取扱業制度の仕組みと実践的知識
29	ペット関連産業概論	適正な発展に向けた今後の課題と心構え
30	試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・モデル犬の兼ね合いで動物介在・共生論、犬学、ドッグトレーニング演習と入れ替わることがある
- ・授業態度、出席日数、試験結果等を総合評価とする

教科書

愛玩動物飼養管理士2級教本

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング概論	基礎	1	通年	寺岡 朋美	トリマー

講義の目的および概要

トリミングの知識を濃密にし、トリミングへの向上意識を高める。
犬種別のトリミング手順やイラストを学ぶことで、
カットスタイルを覚えて実習をスムーズに行えるようにする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1 2	グルーミングとは	グルーミングについて、グルーミングの目的・大切さ シャンプーセットの手順
3	扱う道具について	道具の名称・使い方・注意点 <u>犬の扱いについて</u>
4 5	各作業について	グルーミングの手順
6 ~8	シーザー、マルチーズ	シーザー、マルチーズ、ベアカットのトリミング手順
9 10	ヨークシャーテリア、ポメラニアン	ヨークシャーテリア、ポメラニアンのトリミング手順
11 12	トイ・プードル	プードルのトリミング手順
13 14	ケネル&ラムクリップ	ケネル&ラムクリップ (クリッピング)
15	試験	前期試験
16	復習	試験 答え合わせ
17	ケネル&ラムクリップ	ケネル&ラムクリップ (カッティング)
18 19	プードルのペットクリップ	ペットコンチネンタルクリップ、マイアミクリップ
20 ~ 22	ミニチュア・シュナウザー	ミニチュア・シュナウザーのトリミング手順
23	ワイアー・フォックス・テリア	ワイアー・フォックス・テリアのトリミング手順
24	スコティッシュ・テリア	スコティッシュ・テリアのトリミング手順
25	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリアのトリミング手順
26	アメリカン・コッカー・スパニエル	アメリカン・コッカー・スパニエルのトリミング手順
27	イングリッシュ・コッカー・スパニエル	イングリッシュ・コッカー・スパニエルのトリミング手順
28 29	猫	猫について
30	試験	後期試験

* 随時イラスト練習を行う。

学習上の留意点と評価方法

前期試験・後期試験は筆記試験を行う。

試験結果、授業態度、欠課日数、提出物などにより総合的に評価する。

授業態度、欠課・遅刻回数の評価は重視する。

教科書

プリント配布

参考文献

ハッピー*トリマー (緑書房)

trim (エデュワードプレス)

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物介在・共生論	基礎	1	通年	吉田 浩和	・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

家族として扱われるようになった犬や猫が人間社会で果たす役割と、共生していくための知識や方法を考える。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	自己紹介
2	人と動物の関係学	人間と動物の関わり
3	人と動物の関係学	人間の福祉と愛玩動物の関わり
4	人と動物の関係学	動物介在活動・療法
5	人と動物の関係学	動物介在教育
6	人と動物の関係学	動物愛護の今後の展望
7	動物生活環境学	飼養環境の整備の重要性の高まりとペット共生住宅
8	動物生活環境学	ペットツーリズムによる魅力あるペットライフの推進
9	動物生活環境学	動物愛護管理センターの実態と取り組み
10	動物生活環境学	動物の保護収容施設の設計および管理運営要項
11	動物生活環境学	ペットの教育・訓練施設
12	動物生活環境学	学校などにおける動物介在教育
13	動物生活環境学	ペット飼養のマナー
14	動物生活環境学	事故防止などのリスク対策
15	試験	
16	ペット関連産業概論	ペット業界の歴史
17	ペット関連産業概論	現代のペット飼養の変化とペット関連産業の多様化
18	ペット関連産業概論	ペット関連産業分野の市場規模と消費動向
19	ペット関連産業概論	各産業分野の概要と最近の動向
20	生命倫理・動物福祉	生命理論の概念
21	生命倫理・動物福祉	動物福祉の概念
22	生命倫理・動物福祉	利用目的により異なる関わり方
23	生命倫理・動物福祉	愛玩動物の福祉
24	生命倫理・動物福祉	産業動物の福祉
25	生命倫理・動物福祉	実験動物の福祉
26	生命倫理・動物福祉	展示動物の福祉
27	福祉と介護	動物の福祉と虐待
28	災害対策	災害時の避難
29	ペットに関する法律	ペットに関する法律について
30	試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・モデル犬の兼ね合いで動物飼養管理学、犬学、ドッグトレーニング演習と入れ替わることがある
- ・授業態度、出席日数、試験結果等を総合評価とする

教科書

愛玩動物飼養管理士2級教本

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物栄養学基礎	基礎	1	後期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

動物を扱う職業に就くものとして必要最小限の栄養管理の知識を持ち、他の飼育者らに対してアドバイスができるようになることを目標とする。最終的に NAVA のペット栄養士の資格取得を目指す。

授業計画

パワーポイントとプリントを用いて授業を進め、小テストにより理解を深める。

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション 第1章 犬・猫の栄養学の基礎	自己紹介、授業計画・評価方法の説明。プリント 1-2
2	6 大栄養素について① (水)	プリント 2-5
3	6 大栄養素について② (炭水化物)	プリント 6-9
4	6 大栄養素について③ (脂質)	プリント 10-12
5	6 大栄養素について④ (タンパク質)	プリント 13-16
6	6 大栄養素について⑤ (ビタミン・ミネラル)	プリント 17-21
7	犬・猫に与えてはいけない食べ物	プリント 22-23、第1章の小テスト
8	第2章 犬・猫の栄養要求量 犬・猫の栄養要求量の違い	プリント 24-28
9	犬・猫のエネルギー要求量、 BCS、RER、DER、給与量計算	プリント 29-32
10	ライフステージ別の栄養管理① 繁殖期の栄養管理	プリント 33-35
11	ライフステージ別の栄養管理② 成長期・維持期の栄養管理	プリント 36-39
12	ライフステージ別の栄養管理③ 高齢期の栄養管理	プリント 40-42、第2章の小テスト
13	第3章 ペットフード ペットフードの歴史・種類など	プリント 43-51、第3章の小テスト
14	第4章 手作り食、クッキー、ケ ーキ	
15	栄養指導 対面でのやり取り	

学習上の留意点と評価方法

授業態度、小テスト、NAVA ペット栄養士の試験などを元に評価を行う。

教科書

NAVA ペット栄養管理士のテキスト

参考文献

EDWARD Pres 臨床栄養看護学②、動物栄養学、フードアドバイザー
ファームプレス 臨床のための小動物栄養学、ベーシック小動物栄養学
緑書房 犬と猫の栄養学

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習 I	基礎	1	通年	常石誠・加来博子 西堀有紀・高橋由美 子中川栞・大塚涼子	トリマー (6名)

講義の目的および概要

基本的なグルーミング知識・技術の習得はもちろん、トリミング向上に最も重要な要素となる犬の扱い、トリマーとしての犬との関係・接し方とはどのようなものか、トリマーとしての心構えといった、今後の向上に必要な基礎、土台を育成する。また、スタッフルームでの飼い主とのコミュニケーションや接客を通して、トリマー・犬・飼い主との関係の重要性を学ばせる。
NAVA認定トリマーライセンス3級取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1 ～ 4	道具の正しい使い方や 実習の流れを理解	トリマーの心得、道具の確認、各道具の使い方トリミング作業手順、犬種省略記号、リボン製作と付け方、実習ノート・報告書の書き方、カルテの見方・記入の仕方、実習に入る前の注意点、スタッフルームの目的・内容、預かり書・注文書、実習室・犬舎室の使い方、掃除当番の目的と内容、ブラッシング練習、シザー練習
5 ～ 13	シャンプーセットの理解	各道具の正しい使い方、犬の扱い、保定、シャンプーセットの手順の理解 大型犬一頭 2～4人 中・小型犬一頭 1～2人
14	ペットクリップを学ぶ	シーザー、マルチーズ、プードル(ベアカット)などのペットクリップのデモンストレーション
15 ～ 22	シャンプーセットの習得と ペットクリップの理解	シャンプーセットの習得、グルーミング・トリミング犬種のペットクリップの理解 大型犬一頭 2～3人 中・小型犬一頭 1～2人
23 ～ 30	シャンプーセットの完成度を高め ペットクリップの深い理解と習得	シャンプーセットの習得、グルーミング・トリミング犬種のペットクリップの理解と習得 時間短縮(スピードアップ)の習得 大型犬一頭 2～3人 中・小型犬一頭 1人
31 ～ 60	NAVA認定トリマーライセンス 3級取得を目指す	シャンプーセットの習得、グルーミング・トリミング犬種のペットクリップの習得 時間短縮(スピードアップ)の習得 中・大型犬一頭 2～3人 小型犬 多頭 1人

学習上の留意点と評価方法

犬の扱い、道具の正しい使い方、カット手順などが間違っていないか確認し、怪我に十分に配慮する。
授業の中でテスト形式にて行う。授業態度、テスト形式の点数、欠課日数などにより評価する。
授業態度、欠課・遅刻回数の評価は重視する。

教科書

グルーミング概論テキスト・配布プリントなど

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットビジネス学	基礎	1	通年	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・動物にかかわるビジネスの特徴、今後のあり方の基本を学ぶ
- ・日本商工会議所「販売士（リテールマーケティング）検定3級」合格を目標に、ビジネス常識、店舗運営、マーケティング、マーチャンダイジングの基本知識を学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	ペットビジネスとは、販売士検定とは
2	「小売業の類型」1	流通における小売業の基本①
3	「小売業の類型」2	流通における小売業の基本②
4	「小売業の類型」3	組織形態別小売業の基本①
5	「小売業の類型」4	組織形態別小売業の基本②
6	「小売業の類型」5	店舗形態別小売業の基本的役割、商業集積
7	「マーチャンダイジング」1	商品の基本、マーチャンダイジングの基本
8	「マーチャンダイジング」2	商品計画の基本
9	「マーチャンダイジング」3	販売計画、仕入計画の基本
10	「マーチャンダイジング」4	価格設定の基本
11	「マーチャンダイジング」5	在庫管理の基本
12	「小売業の類型」まとめ1	過去問題の分析
13	「小売業の類型」まとめ2	キーワードの整理
14	「マーチャンダイジング」まとめ1	過去問題の分析
15	「マーチャンダイジング」まとめ2	キーワードの整理
16	「ストアオペレーション」1	ストアオペレーションの基本
17	「ストアオペレーション」2	包装技術の基本
18	「ストアオペレーション」3	ディスプレイの基本
19	「マーケティング」1	小売業のマーケティングの基本
20	「マーケティング」2	顧客満足経営の基本
21	「マーケティング」3	商圈の設定と出店の基本
22	「マーケティング」4	リージョナルプロモーションの基本
23	「販売・経営管理」1	予備試験対策
24	「販売・経営管理」2	予備試験
25	「ストアオペレーション」まとめ1	過去問題の分析
26	「ストアオペレーション」まとめ2	キーワードの整理
27	「マーケティング」まとめ1	過去問題の分析
28	「マーケティング」まとめ2	キーワードの整理
29	検定試験対策 1	ポイントのまとめ
30	検定試験対策 2	ポイントのまとめ

学習上の留意点と評価方法

- ・演習、講義を組み合わせで行う
- ・授業中の態度（積極性、誠実さなど）、発言、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『販売士養成講習会3級テキスト』（日本商工会議所 編）

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
インターンシップ I	基礎	1	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・就職活動、インターンシップを円滑、有効に進めていくために、一般常識、ビジネススキル、コミュニケーションスキルの基本を身につける
- ・自己分析によって自身の強み・弱みを知り、強みを活かして弱みを克服する「マインド」と「行動」について考える
- ・視野を広げ、将来の環境変化も見据えてキャリアプランを考える
- ・「ペットビジネス」と連動して進行する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	社会人・職業人としての基本	仕事の基本、社会人の基本
2	社会人としての一般常識	進物、冠婚葬祭、交際
3	社会人としてのスキル 1	マーケティングリサーチ 業界研究、企業研究、ショップリサーチ
4	社会人としてのスキル 2	円滑な業務遂行 改善、作業割当、役割分担、職務分析
5	社会人としてのスキル 3	マーケティングの基本 マーケティング志向、経営環境分析
6	社会人としてのスキル 4	顧客満足経営 CRM
7	社会人としてのスキル 5	商圏、出店、リージョナルプロモーション
8	就職活動に向けて 1	業界研究、職種研究 インターンシップとは
9	就職活動に向けて 2	ヒューマンスキル ビジネススキル 専門スキル コンセプトチャールスキル
10	就職活動に向けて 3	自己分析 履歴書の書き方、自己PRの書き方
11	ビジネスマナー 1	第一印象、身だしなみ 挨拶、お辞儀、発声、立ち居振る舞い
12	ビジネスマナー 2	言葉遣い、ビジネス用語、敬語、 電話応対、訪問
13	ペットビジネスの今後 1	業界・職種の展望
14	ペットビジネスの今後 2	リテールマーケティングとの関連
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・出席状況、授業中の態度にウェイトをおいて評価する

教科書

『動物系専門学校生・トリミングスクール生のためのコミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス』（インターズー）

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コンピュータ実習 I	基礎	1	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

文書作成ソフト(Word)を利用して、ビジネスで活用できる文書作成の技法及び知識を習得する。目標、全員が検定「Microsoft Word(Office2019)」の資格取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	PC 操作の手順	自己紹介、本校 HP 案内、使用フォルダ作成、手順
2	第 1 章 Word の基礎	Word の概要と基礎知識を学ぶ
3	第 2 章 文字の入力	文字の入力方法、文書の変換方法、単語登録等
4	第 3 章 文書の作成①	ページレイアウトの設定、文書の入力、範囲の選択方法
5	第 3 章 文書の作成②	文字の修正、コピー、移動、配置、装飾、保存等
6	第 4 章 表の作成	表作成、範囲選択、レイアウト変更、書式設定、スタイル設定
7	第 5 章 文書の編集	箇条書き、ルビ、文字効果、インデント、段組み、改頁
8	第 6 章 表現力をアップする機能	ワードアート、画像、図形、文字折り返し、テーマ、ページ罫線
9	第 7 章 便利な機能	検索、置換、PDF ファイル
10	ビジネス文書の基礎知識	ビジネス文書の説明
11	ビジネス文書の基礎知識	ビジネス文書の入力
12	模擬問題第 1 回	説明及び解説しながら一通り実演
13	〃	自習練習（最低 2 回）
14	〃	自習練習（最低 2 回）
15	前期試験	
16	模擬問題第 2 回	説明及び解説しながら一通り実演
17	〃	自習練習（最低 2 回）
18	模擬問題第 3 回	説明及び解説しながら一通り実演
19	〃	自習練習（最低 2 回）
20	模擬問題第 4 回	説明及び解説しながら一通り実演
21	〃	自習練習（最低 2 回）
22	模擬問題第 5 回	説明及び解説しながら一通り実演
23	〃	自習練習（最低 2 回）
24	模擬問題自習練習（最低 2 回）	模擬問題の反復練習。 模擬試験 1～5 回までが 90 点以上、30 分で出来るようになった生徒から受験を促す。 合格できなかった生徒は、次年度の空き時間を利用して補講を行い、再受験をする。
25	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
26	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
27	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
28	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
29	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

年度内までに資格取得をする。不合格者は再受験をして合格を目指す。評価は、資格取得・試験結果・授業態度・欠席日数等の総合評価とする。

教科書

よくわかる Microsoft Word 2019 基礎
 MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集

出版:FOM 出版
 出版:FOM 出版

参考文献

MOS 攻略問題集 Word 365&2019

日経 BP 社

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物公衆衛生学Ⅱ	基礎	2	後期	杓名 竜佑	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

感染症の予防並びに人獣共通感染症について学習する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	消毒と滅菌	消毒と滅菌の違い
2	消毒と滅菌	化学的消毒剤の種類
3	消毒と滅菌	院内感染とその対策
4	免疫学	免疫の定義
5	免疫学	免疫に関する用語
6	免疫学	免疫の種類
7	免疫学	抗原と抗体
8	免疫学	獲得免疫とは
9	免疫学	アレルギー反応について
10	免疫学	免疫による疾病
11	人獣共通感染症	ズーノーシスとは
12	人獣共通感染症	犬からうつる感染症
13	人獣共通感染症	猫からうつる感染症
14	まとめ	まとめと試験対策
15	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

試験の点数を中心とした総合評価

教科書

めざせ早期発見！わかる犬の病気

～トリマー・ペットショップスタッフが日常業務で使える知識～/エデュワードプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物愛護・福祉論	基礎	2	後期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

家庭動物と人の関わりについて、その歴史、法律、など様々な領域の知識を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	家畜の歴史 1	人と動物の関わりについて
3	家畜の歴史 2	家畜の原種や原産地の紹介
4	イヌの歴史	イヌ科の系統と進化
5	ネコの歴史	ネコ科の系統と進化
6	自然観察	自然観察（桃山城公園）
7	関連法規 1	動物愛護管理法
8	関連法規 2	外来種法
9	イヌ、ネコ以外の家庭動物 1	フクロモモンガ、ウサギ、ハムスターなど
10	イヌ、ネコ以外の家庭動物 2	モルモット、フェレット、など
11	イヌ、ネコ以外の家庭動物 3	鳥類、
12	イヌ、ネコ以外の家庭動物 4	爬虫類、両棲類
13	まとめ	総復習
14	動物園見学	京都市動物園見学
15	テスト	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

「現代社会と家庭動物」（動物愛護社会化推進協会）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物生理学	基礎	2	後期	杓名 竜佑	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

犬の些細な変化に気づき病気の早期発見、早期治療につなげることができる知識を身につける。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物生理学	概要と授業計画
2	健康と疾病	健康と疾病の定義
3	健康と疾病	疾病の原因
4	健康と疾病	病気の診断方法
5	健康と疾病	問診の方法
6	健康と疾病	視診・聴診の方法
7	体表の検査	皮膚の色の変化で病気を見つける
8	局所循環障害	充血・うっ血・貧血等
9	炎症論	炎症の定義と主徴
10	腫瘍論	腫瘍の定義と特性
11	腫瘍論	命にかかわる腫瘍
12	寄生虫症	寄生虫の種類
13	眼・耳・歯の病気	その種類と症状
14	まとめ	まとめと試験対策
15	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

試験の点数を中心とした総合評価

教科書

めざせ早期発見！わかる犬の病気
～トリマー・ペットショップスタッフが日常業務で使える知識～／エデュワードプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物学	基礎	2	前期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

ペット業界に必要な動物全般に関する理解を深める。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	授業内容の紹介
2	生物の分類	分類とは、分類階級
3	生物の分類	学名の話、五つの王国
4	動物の分類	脊椎動物
5	動物の分類	無脊椎動物 1
6	自然観察	自然観察の手法
7	動物の分類	無脊椎動物 2
8	哺乳類	哺乳類の特徴
9	鳥類	鳥類の特徴
10	爬虫類	爬虫類の特徴
11	両棲類	両棲類の特徴
12	魚類	魚類の特徴
13	まとめ	総復習
14	自然観察	自然観察（宝ヶ池）
15	テスト	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物栄養学	専攻	2	通年	白崎 凌太	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

5大栄養素やその代謝などの基礎栄養素を学び、ライフステージや疾病について学び、ライフステージにおけるペットフードについて理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬と猫の食性について	
2	6大栄養素	炭水化物（糖質と食物繊維）
3	6大栄養素	脂質
4	6大栄養素	タンパク質
5	6大栄養素	ビタミン
6	6大栄養素	ミネラル・水
7	エネルギー評価	カロリー計算、BCSとは
8	犬猫に与えてはいけないもの	中毒性などについての緊急対応
9	ペットフードについて①	フードの種類・療法食について
10	ペットフードについて②	ライフステージにおける栄養管理
11	ペットフードについて③	疾病別の食事管理について
12	ペットフードについて④	フードの添加物について
13	栄養指導	肥満・減量指導
14	まとめ	前期試験にむけて復習
15	前期試験	
16	疾病と栄養①	腎疾患について
17	疾病と栄養②	尿結石
18	疾病と栄養③	心臓疾患
19	疾病と栄養④	消化器疾患
20	疾病と栄養⑤	脾臓疾患
21	疾病と栄養⑥	肝疾患
22	疾病と栄養⑦	糖尿病
23	疾病と栄養⑧	皮膚疾患・アレルギーについて
24	疾病と栄養⑨	癌疾患
25	疾病と栄養⑩	その他の疾患
26	各疾病に対する栄養管理	栄養管理について
27	各疾病に対する指導	疾病に対する栄養指導
28	サプリメントについて	サプリメントとは？
29	まとめ	後期試験にむけて復習
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

テストや授業態度・積極性に対する総合評価

教科書

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第8巻／エデュワードプレス

参考文献

特になし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療 コミュニケーション	専攻	2	後期	白崎 凌太	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎を学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	クライアントエデュケーション概論	クライアントエデュケーションとは
2	健康管理と医療現場で行われる健康管理	指導方法・指導時のポイント
3	説明の事例案①	狂犬病予防接種
4	説明の事例案②	犬の混合ワクチン接種
5	説明の事例案③	猫の混合ワクチン接種
6	説明の事例案④	フィラリア予防
7	説明の事例案⑤	ノミ・マダニ予防
8	説明の事例案⑥	避妊・去勢手術について・デンタルケアの知識
9	説明の事例案⑦	減量指導・その他
10	接遇とホスピタリティ	ホスピタリティとは
11	社会人コミュニケーション能力の基礎	コミュニケーション能力とは
12	受付でのコミュニケーション	清算業務、クレーム対応
13	院内スタッフ教育指導	スタッフのコミュニケーション・院内マネジメント
14	グリーフケアについて	看取り・お別れ・お見送り・ペットロスのこと
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度・積極性による総合評価

教科書

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第8巻／エデュワードプレス

参考文献

特になし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
猫学	専攻	2	通年	古本 千恵	猫ブリーダー

講義の目的および概要

色々な猫種の特徴を知り、猫との快適な暮らしをするため、猫の体の特徴、飼育方法など、様々な角度から猫について学ぶ。キャットマイスター合格を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	猫の歴史	猫と人との関わりについて
2	猫の歴史	猫と人との関わりについて
3	猫種の発生	どのようにして猫種が誕生したか
4	体型と目の色	猫の体型 猫種による目の色の違い
5	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
6	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
7	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
8	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
9	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
10	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
11	毛色	品種ごとの毛色について
12	猫の身体	身体の特徴について
13	猫の身体	身体の特徴について
14	猫の身体	身体の特徴について
15	前期試験	筆記試験
16	猫の選び方と飼い方	猫の迎え方と準備について
17	猫の選び方と飼い方	猫の迎え方と準備について
18	遺伝と繁殖	目的繁殖のための知識
19	遺伝と繁殖	目的繁殖のための知識
20	遺伝と繁殖	目的繁殖のための知識
21	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
22	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
23	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
24	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
25	猫の習性	特徴的な習性
26	問題行動	猫の主な問題行動
27	グルーミング	グルーミングの必要性
28	ペットショップにおいて	生態販売
29	ペットショップにおいて	ペットホテル
30	後期試験	筆記試験

学習上の留意点と評価方法

定期試験

教科書

Text Book of Cat Meister

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
生命倫理・動物福祉	専攻	2	前期	白崎 凌太	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

動物愛護や動物福祉（アニマルウェルウェア）及びその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物の愛護とは	アニマルウェルウェアの概念
2	さまざまな動物観と影響要因	西欧と日本における関わりの歴史
3	動物福祉の歴史	日本における動物福祉の歴史
4	日本の動物の愛護及び管理に関する法律	動物の愛護及び管理に関する法律の意味・目的・概要
5	動物の権利・愛玩動物の福祉	アニマルニーズ 4つの権利について・動物愛護法について
6	動物病院における患者動物の福祉	獣医療における倫理・飼い主の指導・ペットロスへの対応
7	学校飼育動物の福祉	学校飼育動物とは・適切な管理
8	産業動物の福祉	産業動物の福祉の歴史・日本の産業動物における福祉上の問題
9	実験動物の福祉	実験動物とは？動物実験の基本原則 3Rについて
10	展示動物の福祉	展示動物とは？環境エンリッチメントについて
11	飼育動物の災害時の対応	避難先での福祉にかなった環境や対応
12	安楽死について①	定義、事例
13	安楽死について②	安楽死の選択の背景について
14	まとめ	前期試験にむけて復習
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度や積極性に対する総合評価

教科書

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第4巻／エデュワードプレス

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットファーストエイド	専門科目	2	前期	阿部 令子 仁木 恵美 西 景子 檜原 伸哉	愛玩動物看護師 獣医師 動物病院勤務 愛玩動物看護師

講義の目的および概要

動物の一次救命措置を知り、その予防と対応を学ぶ。また動物病院における処置を学習する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	一次救命措置について	インフォメーション、一次救命措置（ファーストエイド）とは、FA の原則・目的について、動物に咬まれた時の対応と病気
2	一次救命措置について	緊急時の動物の取り扱い、保定法、ボディランゲージについて、搬送方法、バイタルサイン
3	一次救命措置について	実際の処置について （外傷・中毒・火傷・熱中症・低体温症・凍傷、虫刺され、ヘビに咬まれた場合 など）
4	一次救命措置について	CPR 解説、CPR 実習、包帯法実習
5	二次救命措置について	二次救命措置の A～F について
6	二次救命措置について	創傷管理、中毒対応、熱中症対応、溺水、熱傷対応
7	二次救命措置について	循環器・呼吸器・内分泌・眼科の緊急疾患対応
7.5	試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・筆記試験・実技試験による総合評価

教科書

PETS AMERICA 認定 Pet First Aid テキスト
愛玩動物看護師の教科書 4 臨床動物看護学（緑書房）

参考文献

動物看護の教科書 増補改訂版 第 6 巻「救急救命対応」「創傷の管理と包帯法」

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
エキゾチックアニマル	専攻	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

エキゾチックアニマル全般の特徴を学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	生物の分類	分類の詳細
3	動物の分類	節足動物の分類
4	動物の分類	昆虫の分類
5	哺乳類の分類と生態 1	単孔目、双前歯目など
6	哺乳類の分類と生態 2	霊長目など
7	哺乳類の分類と生態 3	ウサギ目、齧歯目など
8	自然観察	自然観察（深泥池）
9	哺乳類の分類と生態 4	鯨偶蹄目、食肉目、
10	哺乳類の分類と生態 5	奇蹄目、翼手目
11	鳥類の分類と生態 1	走鳥類、カモ目など
12	鳥類の分類と生態 2	キジ目など
13	鳥類の分類と生態 3	オウム目など
14	鳥類の分類と生態 4	スズメ目など
15	自然観察	自然観察（深泥池）
16	爬虫類の分類と生態 1	カメ目
17	爬虫類の分類と生態 2	有鱗目トカゲ亜目
18	自然観察	自然観察（下鴨神社）
19	爬虫類の分類と生態 3	有鱗目ヘビ亜目、ワニ目
20	両棲類の分類と生態 1	無足目、有尾目
21	両棲類の分類と生態 2	無尾目 1
22	自然観察	自然観察（モンキーパーク）
23	両棲類の分類と生態 3	無尾目 2
24	魚類の分類と生態 1	無顎類、軟骨魚類
25	魚類の分類と生態 2	硬骨魚類
26	魚類の分類と生態 3	観賞魚
27	昆虫の分類と生態	様々な昆虫の紹介
28	自然観察	自然観察（京都御苑）
29	まとめ	
30	まとめ・テスト	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物保護論	専攻	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	動物及び自然保護の歴史 1	動物保護の考え方
3	動物及び自然保護の歴史 2	様々な法律や条約の紹介
4	動物愛護管理法 1	動物愛護管理法の目的
5	動物愛護管理法 2	動物愛護管理法の内容
6	動物愛護管理法 3	動物愛護管理法の課題
7	世界の動物分布 1	概論、旧北区
8	自然観察	自然観察（桃山城公園）
9	世界の動物分布 2	東洋区、エチオピア区
10	世界の動物分布 3	新北区、新熱帯区、オーストラリア区
11	日本の動物分布	日本の動物相
12	鳥獣保護法 1	鳥獣保護法の目的
13	鳥獣保護法 2	鳥獣保護の問題点
14	森林法	日本の植生
15	自然観察	自然観察（深泥池）
16	文化財保護法	天然記念物とその紹介
17	自然公園法	自然公園の種類
18	自然観察	自然観察（下鴨神社）
19	種の保存法 1	種の保存法の目的、内容
20	種の保存法 2	国内希少野生動物種の紹介
21	ワシントン条約	ワシントン条約の目的、内容
22	自然観察	自然観察（モンキーパーク）
23	ラムサール条約、ボン条約	ラムサール条約、ボン条約の目的
24	環境アセスメント	環境アセスメントとは
25	外来種法	外来種問題について
26	生物多様性	生物多様性の重要性と危機
27	その他の関連事項	動物の調査法など
28	自然観察	自然観察（京都御苑）
29	まとめ	
30	テスト	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物健康管理学	専攻	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

コンパニオンアニマルとその飼養管理の方法について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	健康な動物選び	健康な動物の特徴
3	哺乳類の飼養管理 1	入手方法、準備、装置
4	哺乳類の飼養管理 2	装置、餌
5	哺乳類の飼養管理 3	日常管理
6	哺乳類の飼養管理 4	フクロモモンガ
7	哺乳類の飼養管理 5	霊長類
8	哺乳類の飼養管理 6	ウサギ
9	哺乳類の飼養管理 7	リス
10	哺乳類の飼養管理 8	ネズミ類
11	哺乳類の飼養管理 9	ハムスター類
12	哺乳類の飼養管理 1 0	スナネズミほか
13	哺乳類の飼養管理 1 1	モルモット
14	哺乳類の飼養管理 1 2	チンチラ、デグー
15	前期まとめ	
16	哺乳類の飼養管理 1 3	ハリネズミ
17	哺乳類の飼養管理 1 4	フェレット
18	哺乳類の飼養管理 1 5	ネコ
19	哺乳類の飼養管理 1 6	ネコ
20	哺乳類の飼養管理 1 7	ネコ
21	哺乳類の飼養管理 1 8	総括
22	鳥類の飼養管理 1	装置、餌
23	鳥類の飼養管理 2	種別の留意点
24	爬虫類の飼養管理 1	装置、餌
25	爬虫類の飼養管理 2	留意点
26	両棲類の飼養管理	装置、餌、留意点
27	魚類の飼養管理 1	装置
28	魚類の飼養管理 2	留意点
29	まとめ	
30	後期テスト	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習Ⅲ	専攻	2	通年	大塚 浩也 小西 美恵	トリマー（2名）

講義の目的および概要

プロとして求められる人材を目指す。新卒トリマーに求められることは、基礎の習得である。基礎とは、犬への対応能力・犬の扱い・道具の扱い・ベーシック作業・時間意識であり、基礎の重要性の認識を高め、技術および意識向上を目指す。学生のトリミングからプロのトリミングを身につける。学生からプロへの意識変化を求める。

授業計画

4コマ/回

回	主 題	授 業 内 容
1～15	<基礎> スタンダード 犬の扱い 時間意識 ベーシックの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダードの重要性を認識するために、犬種への理解を深める。 ・ 1年次で得た知識と経験を踏まえてのトリミング ・ 犬を理解する能力、犬との距離感を習得し、犬への対応能力・犬の扱い方の向上を目指す ・ 時間意識の重要性を理解 (犬の負担軽減、プロの仕事とは、を理解させる) ・ 道具の扱い方の徹底指導 ・ ベーシック作業の重要性を理解 (ベーシックの重要さ、難しさを理解させる) <実習形態> <ul style="list-style-type: none"> ・ カット犬一頭を1～2人 ・ 一人で複数頭
16～30	<応用> スタンダード 犬の扱い 時間意識 ベーシックの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダードを理解した上で、様々なバリエーションのカットスタイルをトリミング。 ・ 犬の扱いを習得 (犬種別、個体別、持ち方、気構え、など犬との関係を構築した扱いを習得) ・ 道具の扱いを習得。 (犬とトリマーにとって、より安全な扱い方を身につける。) ・ ベーシック作業の徹底指導 (特にペイジング、ドライイングの向上とその要因を認識し行う) ・ カットスタイルへの対応 (求められるスタイルに対応するため、日頃の努力と情報収集を行うことを求める) ・ 仕上げ時間の短縮 (時間を設定し、必ず時間内に終える事とする) ・ 競技会およびコンテストに対応できるトリミングを身につける。(スタンダードを重視するカットスタイル) <実習形態> <ul style="list-style-type: none"> ・ カット犬一頭を1～2人 ・ 一人で複数頭。 ・ フェイクドッグの活用 ・ 講習など

学習上の留意点と評価方法

授業態度、欠課・遅刻日数、課題などにより評価。実技試験は行わないが、授業で評価していく。これらを総合的に評価。授業態度・欠課日数・遅刻回数の評価は重視。

教科書

参考文献

グルーミング概論で使用の教科書・ノート・プリント
 様々な関連文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
グルーミング実習Ⅱ	基礎	2	通年	常石 誠 (加来・奥山・高橋・中川・ 大塚涼・宮慶)	トリマー (7名)

講義の目的および概要

新しい犬種のトリミングの習得、全体の時間短縮を目標とする。犬種ごとのカットの特徴を理解し習得することによって、正確な技術・応用力を身につける。全ての作業において正確・丁寧・迅速に行う事を意識することで即戦力につなげる。

授業計画

4コマ/回

回	主 題	授 業 内 容
1～6	新たな犬種の型とクリッパーラインを理解する (ケネル&ラムクリップ)	<ul style="list-style-type: none"> ケネル&ラムクリップのデモンストレーション さらなる時間短縮の方法と手順を習得し、意識する 小型犬1～2人 大型犬2～3人
7～15	新たな犬種の型とクリッパーラインを理解する (ミニチュア・シュナウザー、アメリカン・コッカー・スパニエルなど)	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する 時間設定をし時間短縮する(ベーシックは午前中に終了) ミニチュア・シュナウザー、アメリカン・コッカー・スパニエルのデモンストレーション 新たな犬種の完成型を把握する 小型犬1～2人 大型犬2～3人
16～22	時間の感覚を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する 新たな犬種のトリミング方法を理解する (ベーシック…午前中に終了 カット…2時間仕上げ) 小型犬1～2人 大型犬2～3人
23～30	スピードアップかつ 正確・丁寧さを追求	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する ベーシック、カットの時間意識(4時間仕上げ) 小型犬1～2人 大型犬2～3人
31～46	N A V A トリマーライセンス2級合格を目指し、ケネル&ラムクリップを強化	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する 試験に向けてクリッピングのスピード強化と正確さを習得する ケネル&ラムクリップを3時間以内で仕上げる 小型犬1～2 大型犬2～3人
47～51	N A V A トリマーライセンス2級合格を目指し、ケネル&ラムクリップの完成度向上	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する ペット・クリップ、完成度向上と応用力を習得する 小型犬1～2人 大型犬2～3人
52～60	N A V A トリマーライセンス1級合格を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 注文に沿ったカットを習得する ケネル&ラムクリップを2時間以内で仕上げる 小型犬1～2人 大型犬2～3人

※随時イラスト練習を行う

学習上の留意点と評価方法

欠課日数、授業態度、課題提出などにより総合的に評価する

教科書

参考文献

グルーミング概論プリント

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
インターンシップⅡ	基礎	2	前期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・インターンシップ、就職活動に向けて、自分自身の強みを把握し、職業観を確立し、アクションプランを考える
- ・社会人として、コンパニオンアニマルにかかわるプロとして、求められる接遇やコミュニケーションの実践力を身につける
- ・ビジネスマナー実務検定対策と連動する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	ビジネスパーソンとしての資質とは 就職対策 (SPI、面接対策、履歴書)
2	必要とされる資質	(1) ビジネスパーソンとしての資質 (2) 執務要件
3	企業実務	組織とは 組織の機能
4	対人関係 1	(1) 人間関係 (2) マナー
5	対人関係 2	(3) 話し方 (4) 交際
6	電話対応	インターンシップにおけるマナー 電話対応のポイント
7	技能 1	(1) 情報 (2) 文書
8	技能 2	(3) 会議 (4) 事務機器 (5) 事務用品
9	検定対策 1	過去問題分析 キーワードとポイント
10	検定対策 2	過去問題分析 キーワードとポイント
11	インターンシップに向けて	心構え、目標設定、準備、職場で求められるスキル、 職場での行動、接遇の実際、コミュニケーション
12	インターンシップを終えて	自己分析、職場分析
13	就職活動のポイント	求人票の見方、履歴書・エントリーシートのポイント筆記 試験・面接の対策
14	キャリアプランニング	目標設定、課題とアクションプラン 昇格、転職、資格取得、ワークライフバランス
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・演習、実習を中心に行う
- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

『動物系専門学校生・トリミングスクール生のためのコミュニケーション・マナー&キャリア・ガイダンス』 (インターズー)

参考文献

- 『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』(早稲田教育出版)
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』(早稲田教育出版)

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コンピュータ実習Ⅱ	基礎	2	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

表計算ソフト Excel を利用して、PC でビジネス力を高めるための技法及び知識を習得する。
目標、全員が検定「Microsoft Excel (Office2019)」の資格取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	第 1、2 章 基礎知識、データ入力	Excel の概要と基礎知識、データ入力
2	第 3 章 表の作成	計算式の入力、移動、コピー、関数、罫線、表示形式
3	第 4 章 数式の入力	関数の入力方法、セルの参照
4	第 4 章 数式の入力	相対参照、絶対参照
5	第 5 章 複数シートの操作	作業グループの設定、シート間の集計、リンク貼り付け
6	第 6 章 表の印刷	印刷方法、ページレイアウト、ヘッダー・フッター、改頁プレビュー
7	第 7 章 グラフの作成	グラフの作成、グラフの構成、グラフの修正、
8	第 8 章 データベースの利用	データの並べ替え、フィルターを使った抽出、
9	第 9 章 便利な機能	検索、置換、PDF ファイル
10	検定用 関数対策①	関数問題①
11	検定用 関数対策②	関数問題②
12	模擬問題第 1 回	説明及び解説しながら一通り実演
13	〃	自習練習（最低 2 回）
14	〃	自習練習（最低 2 回）
15	前期試験	
16	模擬問題第 2 回	説明及び解説しながら一通り実演
17	〃	自習練習（最低 2 回）
18	模擬問題第 3 回	説明及び解説しながら一通り実演
19	〃	自習練習（最低 2 回）
20	模擬問題第 4 回	説明及び解説しながら一通り実演
21	〃	自習練習（最低 2 回）
22	模擬問題第 5 回	説明及び解説しながら一通り実演
23	〃	自習練習（最低 2 回）
24	模擬問題自習練習（最低 2 回）	模擬問題の反復練習。 模擬試験 1～5 回までが 90 点以上、30 分で 出来るようになった生徒から受験を促す。 合格できなかった生徒は、空き時間を利用 して補講を行い、再受験をする。
25	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
26	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
27	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
28	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
29	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

年度内までに資格取得をする。不合格者は再受験をして合格を目指す。
評価は、資格取得・試験結果・授業態度・欠席日数等の総合評価とする。

教科書

よくわかる Microsoft Excel 2019 基礎
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集

出版:FOM 出版
出版:FOM 出版

参考文献

MOS 攻略問題集 Excel 365&2019

日経 BP 社

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ビジネスマナー・一般常識	基礎	2	前期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・「ビジネス実務マナー検定 3 級」合格に向けて、ビジネス実務遂行のために必要なスキルを身につける
- ・自信をもって就職活動に臨むために、演習・実習を通じて社会人に求められる資質を磨く

授業計画

回	主 題	内 容
1	I 必要とされる資質 1	(1) ビジネスパーソンとしての資質
2	I 必要とされる資質 2	(2) 執務要件
3	II 企業実務	組織の機能
4	III 対人関係 1	(1) 人間関係 (2) マナー
5	III 対人関係 2	(3) 話し方 (4) 交際
6	IV 電話対応	かける 受ける 基本用語
7	IV 技能 1	(1) 情報 (2) 文書
8	IV 技能 2	(3) 会議 (4) 事務機器 (5) 事務用品
9	検定対策 1	まとめ 過去問題分析
10	検定対策 2	まとめ 過去問題分析
11	検定の振り返り	解答のポイント
12	職場での実践	実務力を高める、技能を磨く 対人関係を築き、維持する
13	接遇	電話対応の基本 接客対応用語
14	接遇の実践 (ケーススタディ)	積極的傾聴(聴く)、伝える、説明責任 クレーム対応 など
15	前期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・過去問題の演習を中心に行う
- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

- 『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド 3 級』(早稲田教育出版)
『ビジネス実務マナー検定 実問題集 3 級』(早稲田教育出版)

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ショッピング会計	専攻	2	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

商品販売業の経営に不可欠とされる簿記（会計の知識）を身に付ける。
 全員、日商簿記検定 3 級を受験し、合格を目指す。
 授業には、電卓とマーカーを必ず持参。宿題は必ず次の週に提出。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1 ～ 12	簿記の基礎、日常の手続き	目的、概要の基礎知識。記帳手続や帳簿について学ぶ
	日常の手続き、商品売買 I	仕訳→総勘定元帳へ転記→試算表作成、純損益の計算
	商品売買 I	三分法、掛取引、手付金内金、商品券
	商品売買 II	返品（三分法）、諸掛り、保管費、売掛金・買掛金元帳
	商品売買 II、現金・預金、	商品有高帳、現金、当座預金・借越、普通・定期預金
	小口現金、クレジット売掛金	小口現金制度、クレジット売掛金
	手形、電子記録債権・債務	約束手形、電子記録債権・債務
	さまざまな帳簿の関係	仕訳帳、総勘定元帳、補助簿（6つの帳簿）
	その他の取引 I、II	貸借(借用・手形・役員)利息、固定資産取得・売却・貸借
	その他の取引 III、訂正仕訳	未収・未払、修繕・改良、仮払・仮受、給与、会費、訂正
	試算表	試算表の作成、問題の解き方
13	前期試験対策	模擬問題
14	前期試験対策	模擬問題
15	前期試験	
16 ～ 22	決算	決算の流れ、精算表、帳簿の締切、財務諸表の作成
	決算整理 I、II	現金過不足、貯蔵品、当座借越
	前期試験対策	過去問題
	前期試験	
	決算整理 III、IV	売上原価、売上債権貸倒れ
	決算整理 V、VI、	固定資産の減価償却、経過勘定項目の処理、
	決算整理後 TB、	決算後 TB 作成、精算表の作成
	精算表の作成	精算表のしくみと作成
	帳簿の締切 P/L・B/S 作成	純損益の計算、帳簿の締切
	P/L・B/S 作成	財務諸表の作成
	株式の発行、剰余金の配当と処分	株式会社のしくみ、利益剰余金の配当と処分
税金、証ひょう	法人税と消費税の処理、証ひょうによる仕訳	
伝票会計	伝票のしくみと起票方法や転記の方法	
23 ～ 27	模擬問題 解説	
	模擬問題 解説	
	模擬問題 解く	
	模擬問題 解く	
28	後期試験対策	模擬問題
29	後期試験対策	模擬問題
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

自作プリントを中心に授業をする。教科書は参考資料として使用。
 検定前の 2 週間は検定対策授業を実施。全員参加、資格取得を目指す。
 毎回宿題あり。宿題は次の授業で提出。
 評価は、授業時の質問、宿題提出、試験結果、授業態度、欠席日数により、総合判断する。

シラバス 目次

愛玩動物看護学科

【1年】 ●実務経験のある教員による授業科目 (1110)

●生命倫理・動物福祉 (30)	32
●動物形態機能学 (120)	33
●動物繁殖学 (30)	34
●動物行動学 (30)	35
●動物栄養学 (60)	36
●比較動物学 I (60)	37
●動物看護学概論 (60)	38
●動物感染症学 I (30)	39
●動物内科看護学 I (30)	40
●動物外科看護学 I (30)	41
●動物臨床看護学総論 (30)	42
●動物臨床検査学 (30)	43
●動物医療コミュニケーション (30)	44
●動物生活環境学 (30)	45
●動物形態機能学実習 (30)	46
●動物内科看護学実習 I (90)	47
●動物臨床検査学実習 (60)	48
●動物愛護・適正飼養実習 (120)	49
●猫学 (60)	50
●ペットアドバイザー演習 (60)	51
●基礎動物学 (30)	52
●ビジネススキル I (30)	53
●コミュニケーション技法 基礎 (30)	54

【2年】 ●実務経験のある教員による授業科目 (1035)

●比較動物学 II (60)	55
●動物病理学 (30)	56
●動物薬理学 (60)	57
●動物感染症学 II (60)	58
●公衆衛生学 (60)	59
●動物内科看護学 II (60)	60
●動物臨床看護学各論 (120)	61
●愛玩動物学 (60)	62
●人と動物の関係学 (30)	63
●適正飼養指導論 (60)	64
●ペット関連産業概論 (30)	65
●動物内科看護学実習 II (30)	66
●動物臨床看護学実習 (120)	67
●ペットファーストエイド (15)	68
●動物福祉総合演習 (60)	69
●動物理学療法学 (30)	70
●ビジネススキル II (30)	71
●コミュニケーション技法 応用 (30)	72
コンピュータ実習 (60)	73
●動物看護総合実習 (90)：動物病院にて実習を行う	

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
生命倫理・動物福祉	基礎動物学	1	前期	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

動物愛護やアニマルウェルフェア、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学び、自分たちにできることを考え、実践する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物福祉とはなにか	アニマルウェルフェアの概念 愛護との違い など
2	動物福祉の歴史	西欧におけるアニマルウェルフェアの歴史
3	動物福祉の歴史	日本における動物福祉の歴史
4	動物の権利とは	アニマルニーズ 4つの権利について
5	安楽死について	定義・方法について
6	安楽死について	生命倫理原則について
7	安楽死について	安楽死選択の背景について
8	愛がん動物の福祉について	動物愛護法の目的と概要
9	愛がん動物の福祉について	動物たちの抱える問題とは？その解決方法は？（グループワーク）
10	産業動物の福祉について	5つの自由について 産業動物の福祉のために私たちにできることとは？（グループワーク）
11	実験動物の福祉について	実験動物の利用場面 3Rについて
12	展示動物の福祉について	動物園の存在意義 環境エンリッチメントについて
13	飼育動物の災害時の対応について	概要・方法・準備について
14	飼育動物の災害時の対応について	もしもの時に自分たちにできることとは（グループワーク）
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・期末試験・提出物による総合評価

教科書

動物看護コアテキスト第3版 1 基礎動物学 I（ファームプレス）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物形態機能学	基礎動物学	1	前期	栗田 和恵	獣医師

講義の目的および概要

動物の体にはどのような臓器があり、どのような形をしているのか、またどのような働きがあるのかを学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	総論	動物形態機能学とは
2	細胞の構造	体の成り立ち
3	細胞の構造	細胞膜・核
4	細胞の構造	細胞小器官
5	組織	4つに分類
6	組織	各構造
7	骨格	骨の構造
8	骨格	各骨の名称
9	骨格	関節の構造と名称
10	筋肉	構造・収縮の仕組み
11	筋肉	各筋肉の名称
12	神経	伝達の仕組み
13	神経	中枢神経系
14	神経	脳
15	神経	脊髄
16	神経	自律神経
17	感覚器系	目
18	感覚器系	目の内部構造
19	感覚器系	鼻
20	感覚器系	舌
21	感覚器系	皮膚
22	感覚器系	皮膚の付属機関
23	感覚器系	耳
24	呼吸器系	構造
25	呼吸器系	外呼吸と内呼吸
26	呼吸器系	肺の仕組み
27	呼吸器系	呼吸運動
28	呼吸器系	アシドーシスとアルカローシス
29	復習	
30	前期まとめ・試験	

回	主 題	授 業 内 容
31	消化器系	口腔
32	消化器系	食道から胃
33	消化器系	胃の消化腺
34	消化器系	小腸の機能
35	消化器系	大腸の機能
36	消化器系	肛門
37	消化器系	排泄の仕組み
38	消化器系	肝臓の構造
39	消化器系	肝臓の仕組み
40	消化器系	膵臓の構造と仕組み
41	循環器系	体循環
42	循環器系	肺循環
43	循環器系	心臓の構造
44	循環器系	心臓の収縮の仕組み
45	循環器系	血管の種類と特徴
46	循環器系	血液の分類と働き
47	循環器系	血液の分類と働き
48	泌尿器系	各器官
49	泌尿器系	腎臓の構造
50	泌尿器系	腎臓の機能 ネフロン
51	泌尿器系	尿生成について
52	泌尿器系	クリアランスについて
53	内分泌系	ホルモン分泌器官
54	内分泌系	各内分泌器官とホルモン名 その2
55	内分泌系	各内分泌器官とホルモン名 その2
56	内分泌系	各内分泌器官とホルモン名 その3
57	内分泌系	フィードバックについて
58	復習	
59	復習	
60	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

前期末と後期末の試験・提出物・ミニテストにて評価を行う

教科書

動物看護コアテキスト第3版 1 基礎動物学 I (ファームプレス)

参考文

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物繁殖学	基礎動物学	1	後期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬・猫の生殖器の構造および繁殖メカニズムについて学び、正しい繁殖について飼い主に指導が出来る知識を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	繁殖とは何か	繁殖時に考えるポイント
2	繁殖季節と発情周期	動物の性周期
3	犬と猫の生殖器	犬と猫の生殖器の特徴
4	犬の繁殖生理①	犬の性周期
5	犬の繁殖生理②	繁殖に関わるホルモン
6	犬の交配適期	交配適期、スミア検査
7	猫の繁殖生理	猫の性周期
8	交配様式と妊娠診断	犬猫の交尾様式、妊娠診断
9	妊娠中の管理	妊娠中の母体の健康管理
10	分娩と介助	分娩機序、帝王切開時のポイント、新生子介助の方法
11	遺伝①	遺伝について 遺伝の法則等
12	遺伝②	遺伝性疾患
13	遺伝③	遺伝性疾患と毛色について
14	遺伝④	毛色遺伝子について
15	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

筆記試験および授業態度などから総合的に評価する。

教科書

動物看護コアテキスト第3版 1 基礎動物学 I (ファームプレス)

参考文献

愛玩動物看護師の教科書 (緑書房)

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物行動学	基礎動物学	1	後期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬や猫の行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	問題行動とは	正常行動・異常行動・問題行動 行動診療について
2	行動修正法①	行動修正法の種類と適用
3	行動修正法②	〃
4	犬の攻撃行動①	自己主張性攻撃
5	犬の攻撃行動②	同種間攻撃・遊び関連性攻撃・捕食性攻撃
6	犬の攻撃行動③	恐怖性攻撃・縄張り性攻撃・所有性攻撃
7	猫の攻撃行動	攻撃の分類と対応
8	恐怖行動・不安行動①	分離不安症
9	恐怖行動・不安行動②	音や雷恐怖症
10	排泄に関する行動	マーキングと不適切な排泄の鑑別と対応
11	常同障害	尾追い行動・舐性および自虐行動
12	吠え	吠えに対する行動修正
13	高齢性認知機能不全	高齢動物のケア
14	予備	
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

筆記試験および授業態度など総合的に判断する

教科書

動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ (ファームプレス)

参考文献

認定動物看護師教育コアカリキュラム 準拠 応用動物看護学3 / EDUWARD Press
 愛玩動物看護師の教科書 (緑書房)
 テリー先生の犬のしつけ方教室 / JAHA
 犬と猫の問題行動の予防と対応 / 緑書房

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物栄養学	基礎動物学	1	通年	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

イヌとネコに必要な栄養素およびその代謝など基礎栄養学を学び、ライフステージや疾患ごとの違いを理解した上で、健康状態に合わせたフード選び、給餌方法、飼い主指導に必要な栄養学的知識を習得する。

授業計画

回	内 容
1	動物看護と栄養
2	イヌとネコの食性
3	6 大栄養素①タンパク質
4	6 大栄養素②炭水化物
5	6 大栄養素③脂質
6	6 大栄養素④ビタミン
7	6 大栄養素⑤ミネラル・水
8	BCS とカロリー計算
9	ライフステージに合わせた食餌管理
10	ペットフードとは①
11	ペットフードとは②
12	食べてはいけないもの・食品添加物について
13	手作りフードとは
14	手作りフードの作り方
15	前期試験
16	健康状態に合わせた食餌：消化器系疾患
17	健康状態に合わせた食餌：膵炎・糖尿病の食餌
18	健康状態に合わせた食餌；皮膚の健康と食餌
19	健康状態に合わせた食餌：皮膚疾患
20	健康状態に合わせた食餌：腎臓の生理
21	健康状態に合わせた食餌：腎疾患の食餌
22	健康状態に合わせた食餌：肝臓の生理
23	健康状態に合わせた食餌：肝疾患の食餌
24	健康状態に合わせた食餌：尿結石
25	健康状態に合わせた食餌：肥満
26	健康状態に合わせた食餌：がん疾患
27	健康状態に合わせた食餌：心臓病・関節疾患
28	強制給餌・経管栄養法・静脈栄養法等
29	総まとめ
30	後期まとめ・試験

学習上の留意点と評価方法

他教科の授業進行状況により、授業計画を変更することがある。
授業内小テスト、筆記試験および授業態度などから総合的に評価する。

教科書

動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス）

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
比較動物学Ⅰ	基礎動物学	1	通年	明石 有生	獣医師

講義の目的および概要

飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体群管理について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	愛玩動物 1	歴史、社会的位置づけおよび特徴
2	愛玩動物 2	歴史、社会的位置づけおよび特徴
3	産業動物 1	歴史、社会的位置づけおよび特徴
4	産業動物 2	歴史、社会的位置づけおよび特徴
5	馬 1	歴史と品種、特徴
6	馬 2	主な疾患
7	牛 1	歴史と品種、特徴
8	牛 2	主な疾患
9	めん羊・山羊 1	歴史と品種、特徴
10	めん羊・山羊 2	主な疾患
11	豚 1	歴史と品種、特徴
12	豚 2	主な疾患
13	鶏 1	歴史と品種、特徴
14	鶏 2	主な疾患
15	前期まとめ・試験	
16	実験動物 1	歴史、社会的位置づけおよび特徴
17	実験動物 2	遺伝的制御と微生物学的制御など
18	実験動物 3	実験動物の基礎（外部講師）
19	エキゾチックアニマル 1	ウサギの特徴と主な疾患
20	エキゾチックアニマル 2	フェレットの特徴と主な疾患
21	エキゾチックアニマル 3	ハムスターの特徴と主な疾患
22	エキゾチックアニマル 4	モルモットの特徴と主な疾患
23	エキゾチックアニマル 5	マウス・ラットの特徴と主な疾患
24	エキゾチックアニマル 6	チンチラの特徴と主疾患
25	エキゾチックアニマル 7	ハリネズミの特徴と主な疾患
26	エキゾチックアニマル 8	小鳥（インコ・オウムなど）の品種、生態、形態
27	エキゾチックアニマル 9	小鳥の主な疾患
28	まとめ	
29	まとめ	
30	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

出欠、授業態度、筆記試験から総合的に判断して評価する。

教科書

動物看護コアテキスト第3版 2 基礎動物学Ⅱ（ファームプレス）

参考文献

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻 比較動物学/EDUWARD Press
カラーアトラス エキゾチックアニマル 哺乳類偏、鳥類偏/緑書房

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物看護学概論	基礎動物看護学	1	通年	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	インフォメーション	自己紹介 授業のルール説明
2	動物看護職とは	動物看護職の具体的な職務内容、専門職とは、国家資格とは
3	動物看護師を取り巻く獣医療の歴史	動物看護職の国家資格までの道のり、欧米の動物看護師との違い
4	愛玩動物看護師法	法律の特徴 留意すべき点について 職域について
5	ナイチンゲールの看護理論	重きを置くこと 理論の解説
6	ヘンダーソンの看護理論	重きを置くこと 理論の解説
7	医療と看護の違い	看護・医療の視点と目的
8	動物看護とは	目指すべきことと職務範囲について 動物看護理論について
9	動物看護過程とは	5つのステージ 動物看護計画立案の詳細
10	POMR POS について	診療録・動物看護記録の書き方
11	看護記録とは (SOAP 含む)	動物看護記録の特徴、分類方法について
12	動物看護者のための倫理綱領について	生命の尊重、信頼関係の構築に必要なこととは
13		インフォームドコンセントとは 守秘義務とは
14		「責任」とは 「学習の継続」のために必要な事とは
15	前期試験	
16	前期試験の振り返り	前期試験の解説・復習
17	動物看護者のための倫理綱領について	看護管理 看護教育 看護研究について
18		まとめ
19	グリーフ	グリーフとは グリーフワークとは
20	倫理とは	倫理と応用倫理について
21	看護倫理原則とは	5つの原則とその意味
22	看護倫理原則の活用について	動物看護者の倫理綱領との関係
23	徳の倫理とは	動物看護師として目指すべき人格とは？
24	ケアの倫理とは	看護を行うにあたって何に留意するべきか
25	「道徳的不確かさ」の対応	道徳的不確かさを感じた時の考え方、解決への step
26	「道徳的不確かさ」の事例検討	事例紹介 解決のための step 1 (グループワーク)
27		解決のための step 2 (グループワーク)
28		解決のための step 3 (グループワーク)
29		解決のための step 4 (グループワーク)
30	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内レポートと期末試験によって評価を行う

教科書

動物看護コアテキスト第3版 3 基礎動物看護学 (ファームプレス)

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物感染症学Ⅰ	基礎動物看護学	1	前期	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

感染症の原因・経路・症状・予防および治療法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	感染症学序論	感染症とは
2	感染症学序論	病原微生物と宿主の感染防御機構について
3	ウイルス学総論	ウイルスの分類について
4	ウイルス学総論	ウイルスの性状について
5	ウイルス学総論	ウイルスの増殖、変異について
6	ウイルス学総論	ウイルス感染症の治療について
7	細菌学総論	細菌の分類について
8	細菌学総論	細菌の性状について
9	細菌学総論	細菌の培養と同定について
10	細菌学総論	細菌感染症の治療について
11	真菌学総論	真菌の分類と性状について
12	真菌学総論	真菌の増殖について
13	真菌学総論	真菌症の治療と予防について
14	プリオン病総論	プリオンの性状とプリオン病について
15	前期まとめ・試験	筆記試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
前期末に筆記試験による評価を行う

教科書

動物看護コアテキスト第3版 3 基礎動物看護学（ファームプレス）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物内科看護学 I	臨床動物看護学	1	前期	高橋 佳代子 檜原伸哉・沓名竜佑	愛玩動物看護師 (3名)

講義の目的および概要

犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬と猫の健康とは	
2	一般的な日常の管理	生活環境・食事（飲水）管理・皮膚被毛の手入れなど
3	〃	散歩・運動・排泄・マイクロチップ、定期検査など
4	バイタルサインについて	バイタルサインとは
5	バイタルチェックと体重測定	体温・呼吸数・脈拍（心拍）数・体重測定など
6	一般身体検査について	基本的な身体検査項目
7	動物病院での診療補助	保定法について
8	注射針とシリンジの取扱い	針・シリンジ・滅菌物の取扱いについて
9	輸液管理	輸液管理の基礎知識（目的・ルート）
10	〃	輸液療法に必要な器材・準備・輸液量
11	〃	輸液剤の種類について
12	〃	輸液療法中の動物の観察
13	薬剤の取扱い	調剤について
14	〃	投薬法について
15	まとめ・試験	

※実習授業との調整により授業内容が前後する場合があります

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業内評価（小テストなど）、提出物による

教科書

動物看護コアテキスト第3版 4 臨床動物看護学 I（ファームプレス）
動物看護実習テキスト第3版（EDUWARD Press）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物外科看護学 I	臨床動物看護学	1	前期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

3 年次に行う外科実習の前に、外科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。周術期の看護について系統的に理解し、外科手術に必要な知識を身に付ける。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	外科手術の流れ	外科手術の流れを知り、動物看護師の役割を理解する
2	無菌操作の重要性	なぜ無菌操作が必要なのかを理解し、実践できるようになる
3	洗浄・消毒・滅菌	洗浄、消毒、滅菌の種類と方法を学ぶ
4	手術前に行うべきこと①	飼い主への説明、承諾書、術前検査など
5	手術前に行うべきこと②	術衣、ドレープの準備および滅菌について学ぶ
6	機械類の準備および滅菌①	外科手術器具名称および使用用途について学ぶ
7	機械類の準備および滅菌②	外科手術器具名称および使用用途について学ぶ
8	毛刈り・術野の消毒	毛刈りと消毒について学ぶ
9	術中モニター①	手術中のモニタリングの意義とモニターの見方、意味
10	術中モニター②	手術中のモニタリングの意義とモニターの見方、意味
11	術中モニター③	手術中のモニタリングの意義とモニターの見方、意味
12	手術補助と外周りの役目	手術補助、外周りの役割について学ぶ
13	外傷・創傷管理	傷の種類、創傷の治癒過程、管理の仕方などについて学ぶ
14	覚醒および術後の疼痛管理	覚醒時の注意点、疼痛評価について学ぶ
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

出席率、授業態度、前期試験により総合的に評価する

教科書

動物看護コアテキスト第3版 4 臨床動物看護学 I (ファームプレス)

参考文献

as BOOKS もうコワくない！周術期の動物看護パーフェクトナビ

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床看護学総論	臨床動物看護学	1	前期	西 景子	動物病院勤務

講義の目的および概要

看護対象動物の現状を把握し、看護の目的・目標を設定し看護計画を立案。グループワークを行い、看護記録を作成する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物看護	動物看護におけるマネージメント
2	動物看護	チーム医療・リスクマネージメント
3	動物看護記録	動物看護過程と今後の展開
4	動物看護記録	診療記録・動物看護記録の書き方
5	動物看護記録	特徴と分類方法
6	入院動物の看護	入院中の対応と預かりの注意点
7	ライフステージ別の動物看護	新生児期の管理
8	ライフステージ別の動物看護	離乳期から若齢期の管理
9	ライフステージ別の動物看護	中齢期から高齢期の管理
10	在宅医療	在宅管理と注意点
11	終末期医療	ターミナルケア
12	終末期医療	グリーフケア・エンジェルケア
13	看護事例	動物看護記録を作成する（グループワーク）
14	看護事例	動物看護記録を作成する（グループワーク）
15	総括・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度（グループワーク参加等）、課題提出、定期試験

教科書

動物看護コアテキスト第3版 5 臨床動物看護学（ファームプレス）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床検査学	臨床動物看護学	1	前期	高橋 佳代子 檜原伸哉・沓名竜佑	愛玩動物看護師 (3名)

講義の目的および概要

さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい取扱い方、所見の記録方法を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	検査の種類と目的	
2	尿検査	意義・検査項目
3	〃	検体の取扱い、検査方法
4	〃	
5	糞便検査	意義、検体の取扱い
6	〃	直接塗抹法
7	〃	集卵法（浮遊法）
8	〃	その他の検査
9	血液検査	意義、採血方法
10	〃	検体処理
11	〃	全血球計算
12	〃	血液塗抹
13	〃	血液化学検査
14	〃	血液凝固系検査、血液ガス など
15	まとめ・試験	

※実習授業との調整により授業内容が前後する場合があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業内評価（小テストなど）、提出物による

教科書

動物看護コアテキスト第3版 5 臨床動物看護学Ⅱ（ファームプレス）
動物看護実習テキスト第3版 （EDUWARD Press）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物医療 コミュニケーション	臨床動物看護学	1	後期	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

日常健康管理に関わる飼主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	クライアントエデュケーションとは	その意義や必要性について
2	クライアントエデュケーション実地に当たって①	動物看護師自身が身につけるべき、身だしなみ・立ち振る舞い・言葉遣いについて
3	ホスピタリティとは	その必要性・クライアントサービスとは
4	コンプライアンスとは	その必要性・コンプライアンスを向上させる為の方法
5	院内コミュニケーション①	医療面接のプロセス
6	院内コミュニケーション②	チーム医療に関するコミュニケーション技法
7	院内マネージメント	受付業務について
8	院内マネージメント	受付業務に必要な技術
9	院内マネージメント	清算業務について
10	院内マネージメント	清算業務に必要な技術
11	院内マネージメント	電話対応について
12	グリーフケアについて	グリーフケアの具体策
13	クライアントエデュケーションの実際①	ワクチン接種について
14	クライアントエデュケーションの実際②	フィラリア予防について
15	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

期末試験、授業内の積極性による総合的判断

教科書

動物看護コアテキスト第3版 5 臨床動物看護学Ⅱ (ファームプレス)

参考文献

動物病院スタッフのための院内コミュニケーション基礎知識編
(エデュワードプレス (旧インターズー))

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物生活環境学	愛護・適正飼養学	1	前期	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬猫の行動様式を近いし、飼養環境を整え、人とペットとの共生のための知識を取得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ペットの飼養実態	人と暮らす動物の現状
2	犬猫のニーズとは	5つの自由と5つの領域
3	飼養環境整備①	犬のニーズを理解した飼養環境
4	飼養環境整備②	〃
5	ペットツーリズム関連施設・ ドッグラン	様々なペットサービス
6	犬猫の入手	犬猫の入手先の長所・短所
7	保護収容施設	保護の実態と収容施設
8	ペットへの教育・訓練施設	ペットへの教育
9	動物介在活動	動物介在活動の効果と方法
10	動物行動学	生得的行動と習得的行動
11	犬の発達と社会行動①	犬の発達ステージ
12	犬の発達と社会行動②	〃
13	コミュニケーション行動①	犬猫のボディランゲージについて
14	コミュニケーション行動②	〃
15	総括・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内容はペットアドバイザー演習の進行状況により、変更する場合がある。
授業出席、授業態度および筆記試験により、総合的に評価する。

教科書

動物看護コアテキスト第3版 6 愛護・適正飼養学 (ファームプレス)

参考文献

愛玩動物看護師の教科書 (緑書房)
認定動物看護師教育コアカリキュラム 準拠 応用生物看護学3 (インターズー)

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物形態機能学実習	実習	1	後期	栗田 和恵 (竹田・沓名)	獣医師 愛玩動物看護師

講義の目的および概要

動物の体を実際に目で見ることで、座学で学んだ知識をより深く理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	体位と方向を示す用語	
2	骨格の名称	骨格標本から骨の名称を理解する
3	顕微鏡	各部位の名称
4	顕微鏡	操作方法
5	主な臓器①	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
6	主な臓器②	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
7	主な臓器③	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
8	主な臓器④	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
9	主な臓器⑤	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
10	主な臓器⑥	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
11	主な臓器⑦	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
12	主な臓器⑧	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
13	主な臓器⑨	組織標本を顕微鏡で観察・スケッチ
14	復習	
15	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

出席・提出物・試験により評価する

教科書

動物看護実習テキスト第3版 (EDUWARD Press)

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物内科看護学実習 I	実習	1	通年	高橋佳代子 榎原信哉・沓名竜佑	動物看護師 (3名)

講義の目的および概要

犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	実習での注意点	実習に参加するための準備・実習室の使用方法など
2	実習に参加する動物について	モデル犬の観察・取扱い・環境の準備・排泄物処理
3	記録法	カルテ・記録用紙等への記入・カルテ用語について
	定期的な健康診断の実践	体重測定・バイタルチェック
	〃	一般身体検査
	〃	〃
	〃	〃
	診療補助（保定法）	動物の観察、エリザベスカラー・口輪の使用方法
	〃	立位・座位
	〃	横臥位・仰臥位・各処置に適した保定
	診療補助（駆血法）	前肢からの採血時の保定と駆血
	〃	講師からの採血時の保定と駆血
	注射針とシリンジの取扱い	滅菌物の取扱いについて
	〃	バイアルからの吸引など
	〃	アンプルからの吸引など
	輸液療法の準備	静脈確保に必要な準備・器材
	〃	静脈確保の手順
	〃	輸液ラインの準備
	〃	輸液ポンプの使用方法など
	〃	シリンジポンプの使用方法など
	薬剤の取扱い	調剤方法（調剤の準備など）
	〃	調剤方法（調剤の実際）
	〃	自動分包機の取扱いなど
	〃	飼い主への説明
	投薬法	内用薬（経口投与）
	〃	外用薬
	〃	注射法
		噴霧療法
44	その他の看護技術	電法など
45	まとめ	

※動物内科看護学（座学）との調整により授業内容が前後する場合があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験・授業内評価による

教科書

動物看護コアテキスト第3版 4 臨床動物看護学 I（ファームプレス）
動物看護実習テキスト第3版（EDUWARD Press）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床検査学実習	実習	1	通年	高橋 佳代子 檜原伸哉・沓名竜佑	愛玩動物看護師 (3名)

講義の目的および概要

検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	実習に臨むための準備	検査台の準備、検体の取扱い、医療廃棄物について
2	顕微鏡の扱い方	
3	尿検査	検体採取・取扱い、物理的性状検査
4	〃	尿比重、化学的性状検査
5	〃	尿沈渣、検査結果表の記入方法
6	糞便検査	検体採取・取扱い、性状検査
7	〃	直接塗抹法
8	〃	浮遊法 その他
9	血液検査	採血準備、採血補助、検体処理・取扱い
10	〃	全血球計算（自動血球計数機）
11	〃	ヘマトクリット管検査
12	〃	血液塗抹検査（標本作成）
13	〃	血液塗抹標本（観察）
14	〃	血液塗抹標本（白血球分類）
15	〃	血液化学検査
16	〃	血液化学検査、その他、結果表の記入方法
17	眼科検査	観察、視覚検査
18	〃	STT、フルオレセイン染色検査、眼圧、眼底検査など
19	外耳道検査	検体採取、直接塗抹法、耳ダニ検査
20	皮膚検査	スクリーニング検査 1
21	〃	スクリーニング検査 2
22	皮膚検査・微生物検査	検査項目について
23	〃	細菌検査（塗抹法）
24	〃	薬剤感受性試験
25	〃	真菌検査
26	〃	真菌培養
27	細胞診・組織診	検体採取、検体処理、標本作成
28	〃	各種染色方法についてまとめ
29	その他の特殊検査	検査キット、外注検査
30	まとめ・試験	

※動物臨床検査学（座学）との調整により授業内容が前後する場合があります。

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業態度（取り組み、積極性）等による

教科書

動物看護実習テキスト第3版（EDUWARD Press）

動物看護コアテキスト第3版 4 臨床動物看護学 I（ファームプレス）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物愛護・適正飼養実習	実習	1	後期	小川 美絵 (榎原・沓名)	愛玩動物看護師 (3名)

講義の目的および概要

動物看護師に必要なグルーミング技術と道具の取扱い方法を習得する。
犬種別の特徴や体調に合わせたケアとエンジェルケアについての知識を身に付ける。

授業計画

回	主題	授業内容	回	主題	授業内容
1,2	美容道具と使用方法 実習室の使用方法 実習記録の取り方	動物看護師に必要なグルーミング技術の取扱い、道具の名前を理解する	30 32	グルーミング実習⑥	実習を安全に進める。チーム内で協力をし、丁寧かつ時短を計る。
3,4	犬の分類と歴史 犬の用途と特徴	犬種別の体の特徴や性格を学ぶ。	33	犬の代表的な品種の特徴⑦	JKC 7G ~ 8G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。
5,6	実習の手順	シャンプー作業の手順	34 35	グルーミング実習⑦	実習を安全に進める。チーム内で協力をし、丁寧かつ時短を計る。
7,8	犬の代表的な品種の特徴①	JKC 1G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	36 37	犬の代表的な品種の特徴⑧	JKC 9G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。
9, 10, 11	グルーミング実習①	個体別の安全に実習を進める。グルーミングの各工程をしっかりと理解し行う。	37 38	グルーミング実習⑧	今までの実習を全て踏まえた上で、各自の苦手な工程を克服する。実習の振り返り。
12	薬用シャンプーの手順	一般シャンプーと薬用シャンプーの違い。浸漬薬の利用方法。	39 40	JKC 9G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	JKC 9G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。
13	犬の代表的な品種の特徴②	JKC 1G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	41 42	グルーミング実習⑨	安全に進めながら、実習犬に負担をかけない実習を心がけ、時短を意識する。
14 15 16	グルーミング実習②	実習を安全に進める。チーム内で協力をし、丁寧かつ時短を計る。	43 44	犬の代表的な品種の特徴⑩	JKC 10G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。
17	犬の代表的な品種の特徴③	JKC 2G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	45 46	グルーミング実習⑩	安全に進めながら、実習犬に負担をかけない実習を心がけ、時短を意識する。
18 19 20	グルーミング実習③	実習を安全、丁寧に進めながら時短を計る	47 48	適正飼養	それぞれの動物・品種に必要な飼育環境、飼育方法について理解する。
21 22	犬の代表的な品種の特徴④	JKC 3G ~ 4G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	49 50	グルーミング実習⑪	個体の状態に合わせた実習をチームで考え、協力しながら動けるようにする。
23 24	グルーミング実習④	今までの実習を全て踏まえた上で、各自の苦手な工程を克服する。実習の振り返り。	51 52	災害時への心構え	災害への日頃の備え
25	犬の代表的な品種の特徴⑤	JKC 5G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	53 54 55	グルーミング実習 実技試験	
26 27 28	グルーミング実習⑤	実習を安全に進める。チーム内で協力をし、丁寧かつ時短を計る。	56 57 58 59	グルーミング実習⑫	後期実習の振り返り。
29	犬の代表的な品種の特徴⑥	JKC 6G の特徴を飼い主への指導に役立て、グループの説明が出来るようになる。	60	授業の振り返り	

進行状況により、授業内容（実習と座学）が前後することがあります。

学習上の留意点と評価方法

実習態度（動物への接し方、実習時の積極性、実習後の消毒・清掃への積極的な参加など）、提出物、授業内小テスト、定期試験による評価

教科書

EDUWARD Press 動物看護実習テキスト

参考文献

EDUWARD Press コンパニオンアニマルの健康管理学

JKC 犬種図鑑

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
猫学	専門科目	1	通年	古本 千恵	猫ブリーダー

講義の目的および概要

色々な猫種の特徴を知り、猫との快適な暮らしをするため、猫の体の特徴、飼育方法など、様々な角度から猫について学ぶ。キャットマイスター合格を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	猫の歴史	猫と人との関わりについて
2	猫の歴史	猫と人との関わりについて
3	猫種の発生	どのようにして猫種が誕生したか
4	体型と目の色	猫の体型 猫種による目の色の違い
5	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
6	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
7	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
8	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
9	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
10	猫種	猫種ごとの特徴、性格などを知る
11	毛色	品種ごとの毛色について
12	猫の身体	身体の特徴について
13	猫の身体	身体の特徴について
14	猫の身体	身体の特徴について
15	試験	筆記試験
16	猫の選び方と飼い方	猫の迎え方と準備について
17	猫の選び方と飼い方	猫の迎え方と準備について
18	遺伝と繁殖	目的繁殖のための知識
19	遺伝と繁殖	目的繁殖のための知識
20	遺伝と繁殖	目的繁殖のための知識
21	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
22	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
23	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
24	健康管理	健康で長生きを目指すための知識
25	猫の習性	特徴的な習性
26	問題行動	猫の主な問題行動
27	グルーミング	グルーミングの必要性
28	ペットショップにおいて	生態販売
29	ペットショップにおいて	ペットホテル
30	まとめ・試験	筆記試験

学習上の留意点と評価方法

定期試験

教科書

Text Book of Cat Meister

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットアドバイザー演習	専門科目	1	通年	仁木 恵美	獣医師

講義の目的および概要

犬と生活するにあたり、犬の習性を理解したトレーニング方法を学び、実践的なトレーニング方法を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	犬猫のニーズとは	「犬」とは 個体維持行動
2	犬種特性①	犬種特性と飼い主の相性
3	犬種特性②	犬種特性によるニーズの違い
4	犬種特性③	〃
5	犬のトレーニングとは	「しつけ」と「トレーニング」の違いと必要性
6	学習理論①	馴化・感作
7	学習理論②	古典的条件付けとオペラント条件付け
8	学習理論③	「罰」の副作用
9	学習理論④	強化の仕方・行動（反応）形成
10	基礎トレーニング①	ご褒美とは
11	基礎トレーニング②	「ネームトレーニング」「ハンドターゲット」「オイデ」
12	基礎トレーニング③	「犬との遊び方」「オスワリ」「フセ」
13	基礎トレーニング④	「甘噛みの対応」
14	基礎トレーニング⑤	「ハウストレーニング」「トイレトレーニング」
15	前期総括・試験	
16	基礎トレーニング⑥	「リードの扱い方」「散歩のルール」
17	基礎トレーニング⑦	「ボディコントロール」「歯磨き」
18	基礎トレーニング⑧	子供と犬との関係
19	基礎トレーニング⑨	多頭飼育
20	基礎トレーニング⑩	予備
21	応用トレーニング①	ドッグアジリティとは
22	応用トレーニング②	〃
23	応用トレーニング③	ドッグダンスとは
24	応用トレーニング④	ドッグダンス練習
25	応用トレーニング⑤	〃
26	応用トレーニング⑥	〃
27	応用トレーニング⑦	〃
28	応用トレーニング⑧	〃
29	応用トレーニング⑨	ドッグダンス発表
30	総括・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業出席、授業態度を中心に、筆記試験から総合的に判断する。

教科書

動物看護コアテキスト（ファームプレス）

参考文献

愛玩動物看護師の教科書（緑書房）

認定動物看護師教育コアカリキュラム 準拠 応用生物看護学3／インターブリーチャー先生の犬のしつけ方教室／JAHA

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
基礎動物学	専門科目	1	前期	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

動物看護師に必要な動物全般に関する理解を深める。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	授業内容の紹介
2	生物の分類	分類とは、学名の話、分類階級
3	生物の分類	五つの王国
4	動物の分類	脊椎動物
5	動物の分類	無脊椎動物 1
6	動物の分類	無脊椎動物 2
7	自然観察	自然観察（桃山城公園）
8	動物の分類	無脊椎動物 3
9	哺乳類	哺乳類の特徴
10	鳥類	鳥類の特徴
11	爬虫類	爬虫類の特徴
12	両棲類	両棲類の特徴
13	魚類	魚類の特徴
14	まとめ	総復習
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

板書中心とする。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ビジネススキルⅠ	ビジネス科目	1	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・ ビジネスマナー実務検定3級の内容に沿って進め、社会人として身につけるべきビジネススキルの基本を学ぶ ※検定受験は任意
- ・ 情報リテラシー力、読解力を高めて、変化する環境の中で常に成長していくためのベースをつくる

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	ビジネススキルとは
2	I 必要とされる資質 1	(1) ビジネスパーソンとしての資質
3	I 必要とされる資質 2	(2) 執務要件
4	II 企業実務	組織の機能
5	III 対人関係 1	(1) 人間関係 (2) マナー
6	III 対人関係 2	(3) 話し方 (4) 交際
7	IV 電話対応	かける、受ける 基本用語
8	IV 技能 1	(1) 情報 (2) 文書
9	IV 技能 2	(3) 会議 (4) 事務機器 (5) 事務用品
10	ビジネススキルのポイント1	社会常識、時事
11	ビジネススキルのポイント2	リーダーシップ、資質、実務、対人関係
12	ビジネススキルのポイント3	電話対応 接遇(来客対応、接客)
13	ビジネススキルのポイント4	技能 文書作成、PC
14	就職活動に向けて	知っておきたい一般常識 就職活動のフロー
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・ 演習、講義を組み合わせで行う
- ・ 授業中の態度(積極性、誠実さなど)、発言、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

- 『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』(早稲田教育出版)
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』(早稲田教育出版)

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コミュニケーション技法・基礎	ビジネス科目	1	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・コミュニケーションの基本を確認する
- ・ビジネスコミュニケーションを実践的に学ぶ
- ・ビジネスマナー実務検定の内容をふまえて進める(来春の受験に合わせる)

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	コミュニケーションスタイル分析
2	必要とされる資質(人間力)	ビジネスパーソンの資質とは 執務に必要な人間力、読解力、共感力
3	組織における コミュニケーション	組織の機能 組織を活性化するコミュニケーション
4	対人関係 1	職場の人間関係づくりと維持 マナー
5	対人関係 2	言葉遣い、話し方、敬語 ケーススタディ「職場の人間関係」
6	技能 1	情報共有 文書、メール
7	技能 2	会議、朝礼の参加・運営 郵便、PC
8	ビジネスコミュニケーション 1	バーバルとノンバーバル インプットとアウトプット
9	ビジネスコミュニケーション 2	言葉遣い、ビジネス用語 接遇用語、敬語
10	ビジネスコミュニケーション 3	電話対応
11	職場内のコミュニケーション	ほうれんそう 対話力、説明力
12	接遇マナー 1	対人心理学、CS 対話力、積極的傾聴(聴く)、伝える
13	接遇マナー 2	クレーム対応
14	ケーススタディ	実践的な場面でのコミュニケーションのポイント
15	前期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・社会人としての基礎をつくる場としての授業におけるコミュニケーション、行動を評価のベースとする

教科書

- 『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』(早稲田教育出版)
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』(早稲田教育出版)

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
比較動物学Ⅱ	基礎動物学	2	通年	田邊 眞吾	生物調査業

講義の目的および概要

伴侶動物の歴史やエキゾチックアニマルの特徴について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義内容の紹介
2	家畜の歴史 1	家畜とは
3	家畜の歴史 2	家畜の原種や原産地の紹介
4	家畜の歴史 3	家畜の原種や原産地の紹介
5	哺乳類の飼養管理 1	健康な個体の識別
6	哺乳類の飼養管理 2	装置
7	哺乳類の飼養管理 3	餌
8	哺乳類の飼養管理 4	フクロモモンガ
9	哺乳類の飼養管理 5	霊長類
10	哺乳類の飼養管理 6	ウサギ
11	哺乳類の飼養管理 7	齧歯類の概要
12	哺乳類の飼養管理 8	リス類
13	哺乳類の飼養管理 9	ネズミ類
14	哺乳類の飼養管理 10	ハムスター
15	前期まとめ	
16	哺乳類の飼養管理 11	ハムスター
17	哺乳類の飼養管理 12	その他のネズミ類
18	哺乳類の飼養管理 13	モルモット
19	哺乳類の飼養管理 14	チンチラ、デグー
20	哺乳類の飼養管理 15	ハリネズミ
21	哺乳類の飼養管理 16	フェレット
22	鳥類の飼養管理 1	装置、餌
23	鳥類の飼養管理 2	種別の留意点
24	爬虫類の飼養管理 1	装置、餌
25	爬虫類の飼養管理 2	留意点
26	両棲類の飼養管理	装置、餌、留意点
27	魚類の飼養管理 1	装置
28	魚類の飼養管理 2	留意点
29	まとめ	
30	後期テスト	

学習上の留意点と評価方法

講義は板書中心。数回、野外実習を行う。テスト、レポート、受講態度、出席率等で総合的に評価する。

教科書

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物病理学	基礎動物看護学	2	後期	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

動物病理学は、病気によって動物の体に起こった変化を調べることで、病気の原因や成り立ちや経過を知ろうとする学問である。病気の正しい診断や効果的な治療、看護の方針が立てられるだけでなく、病気の予防もできるようになることを目的とする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物病理学とは	動物病理学の目的、病理組織標本の作製方法について
2	生体反応と疾病の機序	病気の原因、バイタルサインについて
3	生体の回復力	恒常性の維持と疾病、身体の回復力について
4	細胞や組織に生じる変化	細胞傷害の過程、因子、細胞変化について
5	増殖と修復	細胞増殖と組織変化、化生、修復と治癒について
6	循環障害	血液とリンパ液の循環、充血とうっ血、出血と止血について
7	炎症	炎症の原因と役割、炎症の五大主徴、経過と治癒について
8	炎症	炎症に関わる細胞とケミカルメディエーター、炎症の分類について
9	免疫異常	免疫反応、抗体産生、抗体の移行について
10	免疫異常	アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全、移植について
11	腫瘍	細胞の増殖分化とその異常、腫瘍の定義と分類について
12	腫瘍	腫瘍の原因と発生メカニズム、転移と進行について
13	先天異常	先天異常の遺伝的要因と環境要因について
14	問題演習	五者択一問題による問題演習
15	後期まとめ・試験	五者択一問題による試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
後期末に筆記試験による評価を行う

教科書

愛玩動物看護師の教科書 3 基礎動物看護学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物薬理学	基礎動物看護学	2	通年	栗田 和恵	獣医師

講義の目的および概要

動物看護師として必要な薬物に対する知識を身に付けることを目標とする。
動物の疾病の治療や診断に用いる薬物についての作用機序、臨床応用および副作用について学ぶ。

薬や消毒液の希釈など、現場で行うような簡単な計算もマスターすることを目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	薬理学概論	薬理学とは？
2	薬理学概論	薬理作用とは？薬物治療の概念
3	薬理学概論	薬物動態①
4	薬理学概論	薬物動態②
5	薬理学概論	薬物動態③
6	薬理学概論	薬物の血中濃度、作用曲線、LD ₅₀
7	薬理学概論	動物看護師による薬物の取り扱い
8	薬理学概論	投与量の計算
9	薬理学概論	薬物の剤形と各種投与方法
10	薬理学概論	薬物に関する法規
11	薬理学概論	毒薬、劇薬、普通薬
12	薬理学概論	薬物耐性、依存性、副作用について
13	計算問題	薬物の投与量の計算や消毒薬の希釈計算など
14	計算問題	薬物の投与量の計算や消毒薬の希釈計算など
15	前期試験	
16	薬理学各論	神経系に作用する薬物
17	薬理学各論	呼吸器系に作用する薬物
18	薬理学各論	循環器系および泌尿器系に作用する薬物
19	薬理学各論	循環器系および泌尿器系に作用する薬物
20	薬理学各論	消化器系に作用する薬物
21	薬理学各論	オータコイド
22	薬理学各論	代謝・内分泌の薬物
23	薬理学各論	代謝・内分泌の薬物
24	薬理学各論	血液・免疫に作用する薬物
25	薬理学各論	血液・免疫に作用する薬物
26	薬理学各論	化学療法薬
27	薬理学各論	化学療法薬
28	薬理学各論	化学療法薬
29	計算問題	最後にもう一度計算問題についておさらいをする
30	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度、出席率、小テスト、定期試験から総合的に評価する。

教科書

愛玩動物看護師の教科書 3 基礎動物看護学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物感染症学Ⅱ	基礎動物看護学	2	通年	三浦 智行	獣医師 大学准教授

講義の目的および概要

感染症の原因・経路・症状・予防および治療法を学び、飼い主に感染症予防の大切さを伝えられるようにする。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	外部寄生虫	昆虫類について
2	外部寄生虫	ダニ類について
3	感染症の成立要因	感染症の成立要因について
4	病原体の感染経路と伝播様式	病原体の感染経路と伝播様式について
5	代表的な動物感染症	犬猫の呼吸器系感染症
6	代表的な動物感染症	犬猫の消化器系感染症
7	代表的な動物感染症	犬猫の泌尿器系感染症
8	代表的な動物感染症	犬猫の皮膚感染症
9	代表的な動物感染症	犬猫の重要な細菌感染症
10	代表的な動物感染症	犬猫の重要なウイルス感染症
11	代表的な動物感染症	犬猫の重要な寄生虫疾患
12	消毒法と滅菌法	消毒法と滅菌法について
13	院内感染の予防対策	院内感染の予防対策について
14	問題演習	五者択一問題による問題演習
15	前期まとめ・試験	五者択一問題による筆記試験
16	免疫とは	免疫系の概要について
17	免疫担当細胞	リンパ球系細胞について
18	免疫担当細胞	単球系細胞について
19	自然免疫と獲得免疫	自然免疫と獲得免疫について
20	液性免疫と細胞性免疫	液性免疫と細胞性免疫について
21	免疫不全症	免疫不全症について
22	アレルギー	I型アレルギーについて
23	アレルギー	II型アレルギーについて
24	アレルギー	III型アレルギーについて
25	アレルギー	IV型アレルギーについて
26	自己免疫疾患	自己免疫疾患とはなにか
27	ワクチン	ワクチンとその原理について
28	ワクチン	ワクチンの種類と接種プログラムについて
29	問題演習	五者択一問題による問題演習
30	後期まとめ・試験	五者択一問題による筆記試験

学習上の留意点と評価方法

他教科との兼ね合いによって順序が入れ替わることがある
前期末と後期末に筆記試験による評価を行う

教科書

愛玩動物看護師の教科書 3 基礎動物看護学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
公衆衛生学	専門科目	2	通年	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、ヒトの健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	愛玩動物看護師と公衆衛生	公衆衛生の定義と目的 国民衛生の動向
2	疫学と疾病予防	健康障害の発生要因 感染症対策
3	病原体等に関する安全対策	バイオセーフティ バイオハザード対策
4	食品の衛生	食中毒の種類とその原因物質
5		食品のアレルギー・保存方法・健康被害防止
6	環境衛生	地球規模の環境問題 水の衛生
7		生活環境問題 廃棄物問題 衛生動物
8	ウイルスが原因の 人獣共通感染症	ラッサ熱 マールブルグ病 エボラ出血熱
9		クリミア・コンゴ出血 南米出血熱 Bウイルス感染症
10		サル痘 日本脳炎 ウエストナイル熱 デング熱
11		ダニ媒介脳炎 リフトバレー熱 ハンタウイルス感染症
12		インフルエンザ SARS MERS ニューカッスル病
13		ジカウイルス感染症 チクングニア熱 SFTS
14		前期試験対策
15	前期試験	
16	細菌が原因の人獣共通感染症	前期試験振り返り
17		ペスト 結核 炭疽 野兔病 ブルセラ症
18		細菌性赤痢 サルモネラ症 腸管出血性大腸菌
19		破傷風 猫ひっかき病 ライム病 レプトスピラ症
20		カンピロ Q熱 コリネ カプノ
21	リケッチアが原因の人獣共通感染症	発疹チフス 紅斑熱 オウム病
22	真菌が原因の人獣共通感染症	皮膚糸状菌症 クリプトコッカス症
23	寄生虫が原因の人獣共通感染症	原虫症
24		線虫症
25		吸虫症
26		糸虫症
27		後期試験対策
28	感染症法	感染症法における分類 新興感染症と再興感染症
29		狂犬病予防の重要性
30	後期まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内レポートと期末試験によって評価を行う

教科書

愛玩動物看護師の教科書 3 基礎動物看護学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物内科看護学Ⅱ	臨床動物看護学	2	通年	高橋 佳代子 檜原信哉・沓名隆介・大場美穂	愛玩動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

様々な生体検査の意義や原理、方法について学び、検体や測定機器の正しい取扱い方、所見の記録方法などを学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	動物内科学Ⅰの復習	
2	輸血療法	目的、対象症例について
3	〃	ドナーの条件、血液型について
4	〃	血液型検査・輸血前検査について
5	〃	クロスマッチ試験について
6	〃	輸血療法の手順、輸血中の看護（動物の観察）
7	眼科検査	観察、STT、生体染色法
8	〃	眼圧測定、眼底検査 その他
9	心電図検査	心電図検査のための基礎知識
10	〃	心電図検査の手順
11	血圧測定	血圧測定のための基礎知識、測定手順
12	超音波検査	検査装置の基礎知識、表示モードなど
13	〃	検査の手順
14	X線検査	放射線について、放射線の影響
15	〃	放射線防護、検査手順・準備
16	〃	撮影補助（ポジショニング：胸部撮影・頸部）
17	〃	撮影補助（ポジショニング：腹部撮影）
18	〃	撮影補助（ポジショニング：骨盤領域・四肢・頭部）
19	〃	読影の準備、データ・フィルムの管理
20	〃	造影撮影
21	CT検査	原理・検査手順・注意点
22	MRI検査、PET	原理・検査手順・注意点
23	内視鏡検査	基礎知識、検査手順・注意点
24	神経学的検査	意義・検査準備・記録方法について
25	〃	観察・姿勢反応検査
26	〃	脊髄反射・脳神経検査・知覚試験
27	整形外科的検査	意義・観察・検査項目
28	脊髄検査	意義・検査準備
29	その他検査	遺伝子検査・外注検査など特殊検査関連
30	まとめ・試験	

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業内評価（小テストなど）、提出物による

教科書

愛玩動物看護師の教科書 4 臨床動物看護学（緑書房）
動物看護実習テキスト第3版（EDUWARD Press）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床看護学各論	臨床動物看護学	2	通年	小川 美絵	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

様々な疾病の特徴を知ること、症状別に応じた動物看護をどのように進めるかを考える。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1-2	徴候や疾患の理解 代表的な臨床徴候	記録方法、全身徴候
3-4	循環器疾患①	先天性疾患の特徴と看護
5-6	循環器疾患②	後天性疾患の特徴と看護
7-8	呼吸器疾患①	呼吸器系の各種検査方法・各疾患の特徴と看護
9-10	呼吸器疾患②	各疾患の特徴と看護
11-12	口腔疾患	口腔内疾患の特徴と看護
13-14	消化器、栄養代謝性疾患①	食道・胃・腸の各疾患の特徴と看護
15-16	消化器、栄養代謝性疾患②	肝臓、胆嚢、胆管、膵臓、腹腔内疾患の特徴と看護
17-18	排泄機能障害①	腎臓疾患の看護
19-20	排泄機能障害②	尿路感染症の特徴と看護
21-22	内分泌疾患①	内分泌系の特徴と看護
23-24	内分泌疾患②	内分泌系の特徴と看護
25-26	生殖器疾患①	雄における代表的疾患の特徴
27-28	生殖器疾患②	雌における代表的疾患の特徴
29	前期まとめ	
30	まとめ+前期試験	
31-33	整形外科疾患	代表的な整形外科疾患と看護・リハビリテーション
34-36	神経疾患	代表的な神経疾患と看護・リハビリテーション
37-38	眼疾患	感覚器疾患の特徴と看護
39-40	皮膚疾患①	各疾患の特徴と看護
41-42	皮膚疾患②	各疾患の特徴と看護、薬用シャンプーの利用
43-44	免疫介在性疾患	各アレルギー疾患の特徴と看護
45-46	血液疾患	各疾患の特徴と看護
47-48	担がん動物看護①	良性腫瘍と悪性腫瘍
49-50	担がん動物看護②	各疾患の特徴と担がん動物に対する看護
51-53	救急疾患	緊急時における動物看護師の対応
54-56	機能障害別動物看護	動物看護過程の展開
57-58	事例に基づく動物看護過程	動物看護過程の展開
59	後期まとめ	
60	各論総括+後期試験	

学習上の留意点と評価方法

授業態度、定期試験、授業内で行う小テストでの総合評価
他の教科との調整等で授業内容の順番が変更になることがあります。

教科書

愛玩動物看護師の教科書 5 臨床動物看護学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
愛玩動物学	愛玩・適正飼養学	2	通年	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

愛玩動物の歴史や品種、適切な飼養管理方法について理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ウサギについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性について
2		飼育環境と食事・必要なお世話について
3		扱い方と主な疾患について
4	ハムスターについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性について
5		飼育環境と食事・必要なお世話について
6		扱い方と主な疾患について
7	フェレットについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性について
8		飼育環境と食事・必要なお世話について
9		扱い方と主な疾患について
10	モルモットについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性について
11		飼育環境と食事・必要なお世話について
12		扱い方と主な疾患について
13	小鳥について	家畜化の歴史・体の特徴と習性について
14		飼育環境と食事・必要なお世話について
15	前期総括	
16	小鳥について	扱い方と主な疾患について
17	デグーについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性・飼育環境と食事
18		必要なお世話・扱い方と主な疾患について
19	フクロモモンガについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性・飼育環境と食事
20		必要なお世話・扱い方と主な疾患について
21	チンチラについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性・飼育環境と食事
22		必要なお世話・扱い方と主な疾患について
23	ハリネズミについて	家畜化の歴史・体の特徴と習性・飼育環境と食事
24		必要なお世話・扱い方と主な疾患について
25	犬について	飼養上の特徴・成長過程と管理方法
26		老齢期の管理方法（環境・食事など）
27	猫について	飼養上の特徴・成長過程と管理方法
28		新しく猫を迎えるときの注意・老齢期の管理方法
29		犬と猫の健康管理方法
30	総括	

学習上の留意点と評価方法

期末試験によって評価を行う

教科書

愛玩動物看護師の教科書 3 基礎動物看護学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
人と動物の関係学	愛玩・適正飼養学	2	後期	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	人と動物の関りの歴史	世界と日本の人と動物の関りの歴史
2	人と動物の関りの歴史	日本と西欧における動物との関りの比較
3	現代人と動物との関り	動物の飼育と利用状況について
4	現代人と動物との関り	人の生活に貢献する動物の役割
5	AAI AAA AAT AAE について	定義・歴史・それぞれの違い・効果に関して
6	AAI AAA AAT AAE について	効果的な実施方法
7	様々な人と動物の関係	高齢者と動物 子供と動物 に関して
8	様々な人と動物の関係	犯罪者と動物に関して
9	使役動物について	使役動物の歴史と福祉について
10	使役動物について	身体障害者補助犬・そのほかの使役犬について
11	ペットの飼育	人がペットを飼う理由について ペット飼育の歴史と現状
12	ペットの飼育	人とペットがともに幸せに暮らすために必要なこと
13	動物虐待	定義と背景 対応
14	動物虐待	現状と法規制・問題点に関して
15	ペット産業の現状	飼育頭数・ビジネスの分類・動物病院の実態・動物病院 以外の経済動向・動物看護師の求人動向

学習上の留意点と評価方法

期末試験と授業中の積極性、提出物の総合評価

教科書

愛玩動物看護師の教科書 6 愛護・適正飼養学（緑書房）

参考文献

なし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
適正飼養指導論	愛玩・適正飼養学	2	通年	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

愛玩動物の効用や使用目的等を理解したうえで、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理の在り方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	インフォメーション	1年間の学習項目と到達目標を理解する
2	動物愛護管理行政①	愛護センターの役割と現状
3	動物愛護管理行政②	動物取扱業と動物取扱責任者について
4	動物愛護管理行政③	愛護センター等での看護師の役割について
5	愛玩動物の飼養	愛玩動物の適正飼養の基本概念
6		愛玩動物の適正飼養とは
7		愛玩動物飼養の恩恵と問題点
8	適正飼養に関するクライアントエデュケーション	前項で明らかになった問題点それぞれに関して、クライアントエデュケーションすべき点を考え、資料作成・発表を行う
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	前期総括	前期学習の評価
16	前期の復習	
17	災害とは	日本で起こりやすい災害とは
18		災害獣医療と災害時の動物看護師の役割
19		知っておきたい防災用語
20	避難とは	様々な「避難」と同行避難の重要性
21		行政の取り組み 避難所と避難生活について
22	防災準備	平常時における動物看護師の役割とは
23		準備すべきもの ハザードマップについて
24		防災行動計画について
25	防災 HUG	避難所をどのように運営するかシミュレーションを行う
26		
27	防災に関するクライアントエデュケーション	防災に関してクライアントエデュケーションすべき点を考え、資料作成・発表を行う
28		
29		
30	総括	

学習上の留意点と評価方法

期末試験、グループワークへの積極性、レポート課題によって評価を行う

教科書

愛玩動物看護師の教科書 6 愛護・適正飼養学（緑書房）

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペット関連産業概論	愛玩・適正飼養学	2	後期	吉田 浩和	<ul style="list-style-type: none"> ・ショップ経営 ・ドッグトレーナー ・トリマー

講義の目的および概要

動物看護師としてペット関連産業についての知識と理解を深める。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ガイダンス	自己紹介、ペット関連産業について
2	ペット関連産業における職業理論	責任と社会的役割
3	ペット関連産業における職業理論	商取引における関連法規
4	ペット関連産業における職業理論	動物愛護管理法にもとづく事前説明
5	ペットの飼養実態と市場規模	ペットの飼養実態
6	ペットの飼養実態と市場規模	ペット関連産業の概要と市場規模
7	ペットの飼養実態と市場規模	ペット産業の分類
8	ペットの飼養実態と市場規模	動物病院の現状
9	ペットの飼養実態と市場規模	動物病院以外のサービス業の現状
10	ペットの飼養実態と市場規模	生体販売業・ペットショップの現状
11	ペットの飼養実態と市場規模	その他ペット産業の現状
12	動物取扱業者	動物取扱業の概要
13	動物取扱業者	動物取扱業の規制
14	動物取扱業者	動物取扱業者
15	試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・試験結果、授業態度、出席日数等の総合評価とする

教科書

愛玩動物看護師の教科書 6 愛護適正飼養学 (緑書房)

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物内科看護学実習Ⅱ	実習	2	前期	高橋佳代子 檜原信哉・杵名竜佑・大場美穂他	愛玩動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

様々な看護技術の方法やその意義について学び、適切な診療補助・看護が行えることを目的とする

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	投与方法の実際	内服薬の投与方法について
2	〃	注射法の方法について
3	眼科検査	観察、STT
4	〃	生体染色法、その他
5	輸血療法	血液型検査 1
6	〃	血液型検査 2
7	〃	クロスマッチ試験 1
8	〃	クロスマッチ試験 2
9	心電図検査	心電図検査の方法
10	超音波検査	超音波検査の方法
11	X線検査	ポジショニング 1
12	〃	ポジショニング 2
13	神経学的検査	観察、姿勢反応検査、脊髄反射
14	〃	脳神経検査、知覚検査
15	整形学的検査	

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業内評価（小テスト含む）、提出物による

教科書

動物看護実習テキスト第3版（EDUWARD Press）

参考文献

愛玩動物看護師の教科書 4 臨床動物看護学（緑書房）

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物臨床看護学実習	実習	2	通年	高橋佳代子 檜原信哉・杵名竜佑・大場美穂 他	愛玩動物看護師 (4名)

講義の目的および概要

動物看護過程や疾患別看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	保定法（発展）	各検査・処置に対応した保定法（復習含む）
2	〃	〃
3	入院動物の管理	アセスメント、痛みの程度の評価など
4	入院施設の管理	ケージの清掃、管理、院内の環境整備（消毒法など）
5	〃	ICUなどの特殊入院施設の管理
6	輸液療法（発展）	輸液ポンプ・シリンジポンプの使用法（復習含む）
7	栄養管理	食事介助、強制給餌食事の工夫など
8	〃	チューブフィーディングについて
9	〃	チューブフィーディングの実際
10	導尿処置	必要な準備、手順
11	胸水・腹水の採取・抜去	必要な準備、手順
12	脊髄穿刺	必要な準備、手順
13	罨法	温罨法、冷罨法
14	創傷管理	創傷の分類、治癒形態
15	〃	創傷管理の基礎知識
16	包帯法・固定法	各種包帯法・固定法
17	褥瘡管理	褥瘡の発生機序、症状など
18	〃	介護の実際（体位変換等）
19	口腔内衛生管理	デンタルケアについて
20	動物看護過程	動物看護記録の方法など
21	動物看護過程の実際	事例演習（事例を挙げ、看護過程を展開してみる）
22	〃	◎呼吸器系・循環器疾患を持つ動物の看護
23	〃	◎消化器系・皮膚疾患を持つ動物の看護
24	〃	◎神経・運動器系・感覚器系疾患を持つ動物の看護
25	〃	◎感染症・担がん動物の看護
26	モデル犬を用いた実習	適切なタイミングで行う
27	〃	◎バイタルチェック・一般身体検査・保定など
28	〃	◎お手入れ
29	看護技術総復習	
30	看護技術総復習・まとめ	

* 2コマを1回としています

学習上の留意点と評価方法

定期試験、授業内態度、提出物等による

教科書

動物看護実習テキスト第3版（EDUWARD Press）

参考文献

愛玩動物看護師の教科書4 臨床動物看護学（緑書房）

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ペットファーストエイド	専門科目	2	前期	阿部 令子 仁木 恵美 西 景子 檜原 伸哉	愛玩動物看護師 獣医師 動物病院勤務 愛玩動物看護師

講義の目的および概要

動物の一次救命措置を知り、その予防と対応を学ぶ。また動物病院における処置を学習する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	一次救命措置について	インフォメーション、一次救命措置（ファーストエイド）とは、FA の原則・目的について、動物に咬まれた時の対応と病気
2	一次救命措置について	緊急時の動物の取り扱い、保定法、ボディランゲージについて、搬送方法、バイタルサイン
3	一次救命措置について	実際の処置について （外傷・中毒・火傷・熱中症・低体温症・凍傷、虫刺され、ヘビに咬まれた場合 など）
4	一次救命措置について	CPR 解説、CPR 実習、包帯法実習
5	二次救命措置について	二次救命措置の A～F について
6	二次救命措置について	創傷管理、中毒対応、熱中症対応、溺水、熱傷対応
7	二次救命措置について	循環器・呼吸器・内分泌・眼科の緊急疾患対応
7.5	試験	

学習上の留意点と評価方法

授業内の積極性・筆記試験・実技試験による総合評価

教科書

PETS AMERICA 認定 Pet First Aid テキスト
愛玩動物看護師の教科書 4 臨床動物看護学（緑書房）

参考文献

動物看護の教科書 増補改訂版 第 6 巻「救急救命対応」「創傷の管理と包帯法」（緑書房）

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物福祉総合演習	専門科目	2	通年	阿部 令子	愛玩動物看護師

講義の目的および概要

主に愛玩動物への福祉活動を通じて、自己の企画力、発信力、企画を形にするための方法論と行動力を培い、同時に集団における役割分担と協働の重要性を学ぶ

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	インフォメーション	授業の目的や到達目標、この1年で行うことの周知
2	物販で取り扱う商品選出	愛玩動物看護師としての商品の選出・予算の割り出し
3	商品作成準備①	企画遂行の手順について・企画書の作成
4	京都動物愛護センター見学	センターの活動を知り、寄付する物品のイメージを付ける
5	商品作成準備②	物販グループ編成・各グループでの役割決定
6	商品作成準備③	企画書提出・商品作成のスケジュール確認
7	商品作成	各グループスケジュールに沿って商品作成 1週間ごとに進捗状況を担当教員へ報告
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	前期総括	ぐーDOG祭での物販に向けてスケジュール確認
16	商品作成	商品の最終確認
17	ぐーDOG祭準備①	商品完成・売値確認・POP作成
18	ぐーDOG祭準備②	POP作成・売り場配置確認
19	ぐーDOG祭準備③	当日の役割り分担確認・物販最終確認
20	ぐーDOG祭での物販	各チームで物販活動
21	大阪愛護フェスタ見学	通常物販の実際を確認し、次年度の対策を立てる
22	ぐーDOG祭の会計報告①	販売数・販売金額の確認
23	ぐーDOG祭の会計報告②	売上金額・純利益の確認
24	ぐーDOG祭の会計報告③	予算返却・報告書の作成
25	次年度の対策立案	大阪愛護フェスタとぐーDOG祭の違い確認
26	寄付準備①	センターへの寄付物品確認
27	寄付準備②	センターへの寄付物品購入
28	寄付準備③	センターへ寄付する物品確認・寄付手順確認
29	京都動物愛護センターへ寄付	センターの方へ活動を報告
30	総括	1年間の活動を学校へ報告

学習上の留意点と評価方法

企画を通して、グループ全員が納得できる役割分担を見つけ、真摯にその役割を果たすことでお互いの信頼関係を構築できるように行動する。グループワークを基本とし、演習内での積極性、協調性を自己・グループ・教員で総合的に判断する

教科書

特になし

参考文献

特になし

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
動物理学療法学	専門科目	2	後期	竹田 明子	獣医師

講義の目的および概要

一般財団法人日本動物理学療法協会による動物理学療法士2級取得を目標に、動物理学療法学の基礎的な知識について学ぶ。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法など
2	リハビリテーションとは	リハビリテーションの定義、必要性
3	リハビリテーションにおける必要な基礎知識①	骨格
4	リハビリテーションにおける必要な基礎知識②	関節・筋肉
5	リハビリテーションにおける必要な基礎知識③	神経
6	リハビリテーションにおける必要な基礎知識④	創傷治癒
7	病態評価①	病態評価の概念、一般的評価
8	病態評価②	形態測定、関節評価、筋肉評価
9	病態評価③	痛みの評価、疲労度評価、歩様評価
10	病態評価④	整形学的検査、神経学的検査
11	理学療法の種類と方法①	徒手療法の種類と方法
12	理学療法の種類と方法②	運動療法の種類と方法
13	理学療法の種類と方法③	水治療方法
14	理学療法の種類と方法④	物理学療法
15	シニア期のケア	シニア期の定義、シニア期のケアのポイント等

学習上の留意点と評価方法

資格試験、授業内評価（小テスト含む）などから総合的に判断する

教科書

動物理学療法士2級 ライセンステキスト（JAPTA）一般財団法人日本動物理学療法協会

参考文献

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
ビジネススキルⅡ	ビジネス科目	2	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・就職に向けて、社会の仕組み、病院(企業)で経営の仕組みを知る
- ・「ビジネススキルⅠ」で学んだ社会人、専門職に求められる一般常識やビジネススキルを再確認し、演習を通じて現場での応用力を高める

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	必要とされる資質	ビジネスパーソンとしての資質 執務要件
2	企業実務	組織のルール 組織の役割 組織の機能
3	対人関係	人間関係 マナー 話し方 交際
4	電話対応	基本用語
5	技能 1	情報 文書会議
6	技能 2	事務機器 事務用品
7	ビジネスマナー検定まとめ	ポイントの確認
8	ビジネスマナー検定まとめ	ポイントの確認
9	検定対策 過去問題分析	
10	検定対策 過去問題分析	
11	労務管理知識	労働基準法、安全管理、ハラスメント、 求人票分析(休暇、福利厚生、社会保険、給与など)
12	マーケティング 1	外部環境分析、内部環境分析 S W O T 分析
13	マーケティング 2	マーケティング志向の問題解決
14	改善と 5 S	問題発見から課題設定、解決へ 5 S の実践
15	改善の実際 プレゼンテーション	衛生管理、文書作成、会議運営、接遇、 職場コミュニケーションなど

学習上の留意点と評価方法

- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、発言、出席率を中心に、課題・筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

- 『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』(早稲田教育出版)
『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』(早稲田教育出版)

参考文献

必要に応じてレジュメ・資料を配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コミュニケーション技法・ 応用	ビジネス科目	2	後期	片岡 洋子	経営コンサルタント

講義の目的および概要

- ・職場の人間関係を良好にし、顧客満足を実現するためのコミュニケーションの基本を見直し、応用力を身につける
- ・社会人として、コンパニオンアニマルにかかわるプロとして、求められるマナーやコミュニケーションを「ビジネス実務マナー検定3級」をふまえて体得する

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	ビジネスパーソンとしての 資質	ヒューマンスキルとコミュニケーション
2	対人関係	人間関係をよくする話し方 交際、冠婚葬祭
3	技能	情報リテラシー 文書作成
4	コミュニケーションスキルの 自己分析	対人心理学 パーソナルスペース、コミュニケーションタイプ
5	ケーススタディ「ビジネス コミュニケーション」1	敬語、言葉遣い
6	ケーススタディ「ビジネス コミュニケーション」2	電話応対
7	ケーススタディ「ビジネス コミュニケーション」3	接遇 CS コミュニケーション
8	ケーススタディ「ビジネス コミュニケーション」4	クレーム対応、ネガティブシーン
9	アサーティブ コミュニケーション	さわやかな自己表現 自己開示のポイント
10	コーチング コミュニケーション	カウンセリングマインド、傾聴 質問力
11	ファシリテーション	ミーティングの進行 人を巻き込む
12	リーダーシップと コミュニケーション	プラスのストローク、モチベーション 率先垂範
13	異文化コミュニケーション	多言語対応の基本 日本のコミュニケーションの特性
14	ダイバーシティ時代の コミュニケーション	ダイバーシティ&インクルージョン 共感のコミュニケーション
15	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

- ・授業中の態度(積極性、誠実さなど)、プレゼンテーション、出席率を中心に、筆記試験の結果を加味して、総合的に評価する

教科書

- 『ビジネス実務マナー検定 受験ガイド3級』(早稲田教育出版)
- 『ビジネス実務マナー検定 実問題集3級』(早稲田教育出版)

参考文献

レジュメを配布

科目名	区分	年次	期別	担当者名	実務経歴
コンピュータ実習	基礎	2	通年	中井 澄子	—

講義の目的および概要

表計算ソフト Excel を利用して、PC でビジネス力を高めるための技法及び知識を習得する。
目標、全員が検定「Microsoft Excel (Office2019)」の資格取得を目指す。

授業計画

回	主 題	授 業 内 容
1	第 1、2 章 基礎知識、データ入力	Excel の概要と基礎知識、データ入力
2	第 3 章 表の作成	計算式の入力、移動、コピー、関数、罫線、表示形式
3	第 4 章 数式の入力	関数の入力方法、セルの参照
4	第 4 章 数式の入力	相対参照、絶対参照
5	第 5 章 複数シートの操作	作業グループの設定、シート間の集計、リンク貼り付け
6	第 6 章 表の印刷	印刷方法、ページレイアウト、ヘッダー・フッター、改頁プレビュー
7	第 7 章 グラフの作成	グラフの作成、グラフの構成、グラフの修正、
8	第 8 章 データベースの利用	データの並べ替え、フィルターを使った抽出、
9	第 9 章 便利な機能	検索、置換、PDF ファイル
10	検定用 関数対策①	関数問題①
11	検定用 関数対策②	関数問題②
12	模擬問題第 1 回	説明及び解説しながら一通り実演
13	〃	自習練習（最低 2 回）
14	〃	自習練習（最低 2 回）
15	前期試験	
16	模擬問題第 2 回	説明及び解説しながら一通り実演
17	〃	自習練習（最低 2 回）
18	模擬問題第 3 回	説明及び解説しながら一通り実演
19	〃	自習練習（最低 2 回）
20	模擬問題第 4 回	説明及び解説しながら一通り実演
21	〃	自習練習（最低 2 回）
22	模擬問題第 5 回	説明及び解説しながら一通り実演
23	〃	自習練習（最低 2 回）
24	模擬問題自習練習（最低 2 回）	模擬問題の反復練習。 模擬試験 1～5 回までが 90 点以上、30 分で 出来るようになった生徒から受験を促す。 合格できなかった生徒は、空き時間を利用 して補講を行い、再受験をする。
25	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
26	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
27	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
28	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
29	模擬問題自習練習（最低 2 回）	
30	後期試験	

学習上の留意点と評価方法

年度内までに資格取得をする。不合格者は再受験をして合格を目指す。
評価は、資格取得・試験結果・授業態度・欠席日数等の総合評価とする。

教科書

よくわかる Microsoft Excel 2019 基礎
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集

出版:FOM 出版
出版:FOM 出版

参考文献

MOS 攻略問題集 Excel 365&2019

日経 BP 社